




奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事

図面番号	図面名称		
M-1	表紙・図面リスト		
特-1	特記仕様書（1）		
特-2	特記仕様書（2）		
特-3	特記仕様書（3）		
M-2	案内図、配置図		
M-3	物質創成科学 F 棟西	換気設備	機器表（改修）
M-4	物質創成科学 F 棟西	換気設備	系統図（改修）
M-5	物質創成科学 F 棟西	換気設備	1 階平面図（改修）
M-6	物質創成科学 F 棟西	換気設備	2 階平面図（改修）
M-7	物質創成科学 F 棟西	換気設備	3 階平面図（改修）
M-8	物質創成科学 F 棟西	換気設備	4 階平面図（改修）
M-9	物質創成科学 F 棟西	換気設備	5 階平面図（改修）
M-10	物質創成科学 F 棟西	換気設備	6 階平面図（改修）
M-11	物質創成科学 F 棟西	換気設備	R 階平面図（改修）
M-12	物質創成科学 F 棟西	換気設備	機器表（撤去）
M-13	物質創成科学 F 棟西	換気設備	系統図（撤去）
M-14	物質創成科学 F 棟西	換気設備	1 階平面図（撤去）
M-15	物質創成科学 F 棟西	換気設備	2 階平面図（撤去）
M-16	物質創成科学 F 棟西	換気設備	3 階平面図（撤去）
M-17	物質創成科学 F 棟西	換気設備	4 階平面図（撤去）
M-18	物質創成科学 F 棟西	換気設備	5 階平面図（撤去）
M-19	物質創成科学 F 棟西	換気設備	6 階平面図（撤去）
M-20	物質創成科学 F 棟西	換気設備	R 階平面図（撤去）
E-1	物質創成科学 F 棟西	電気設備	1 階平面図（改修）
E-2	物質創成科学 F 棟西	電気設備	2 階平面図（改修）
E-3	物質創成科学 F 棟西	電気設備	3 階平面図（改修）
E-4	物質創成科学 F 棟西	電気設備	4 階平面図（改修）
E-5	物質創成科学 F 棟西	電気設備	5 階平面図（改修）
E-6	物質創成科学 F 棟西	電気設備	6 階平面図（改修）

訂正	令和 年 月 日		設計事務所名		管理技術者				国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度				
			株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所		建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸								奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事				令和 8 年度	
			業務名	承諾	校閲	作図	設計年月					図面名称	縮尺	図面番号				
			奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務				令和8年3月					表紙・図面リスト	A1：－ A3：－	M-1				

奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所 奈良県生駒市高山町8916番地の5、19

2. 完成期限 令和 8年12月 25日（金曜日）

3. 建物概要

建 物 名 称	物質創成科学F棟
工 種	修繕
構 造	S R造
階 数	地下1階・地上6階
建築基準法による	
建築面積 (㎡)	1,293
延べ面積 (㎡)	7,559
消防法施行令別表第一の区分	(7)
改 修 面 積 (㎡)	316
備 考	

4. 工事種目（●印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外	工 事 種 目 別
○空気調和設備	物質創成科学F棟
●換気設備	一式
○排煙設備	
●自動制御設備	一式
○衛生器具設備	
○給水設備	
○排水設備	
○給湯設備	
○消火設備	
○ガス設備	
○雨水利用設備	
○さく井設備	
○クリーンルーム設備	
○中央監視設備	
●電気設備工事	一式
●撤去工事	一式

5. 指定部分 ●無 ○有 対象部分（指定部分工期 令和 年 月 日）

6. 概成工期 ●無 ○有 令和 年 月 日（ 曜日）
（第1編1.1.2）[第1編1.1.2]

7. 設備概要（●印の付いたものを適用する）

方式及び種別	設 備 概 要
空調方式	○空冷ヒートポンプ式
主要熱源機器	○
自動制御方式	○電気式 ○電子式 ○デジタル式
給水方式	○高置タンク方式 ○加圧給水方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○合流式 ○分流式） ポンプ排水 ○有（○汚物 ○雑排水 ○湧水） ○無 排水槽 ○有（計画容量 m3） ○無 建物外放流先 （1）汚 水 ○直放流下水管 （2）雑排水○直放流下水管
消火設備の種類	○屋内消火栓設備 ○スプリンクラー設備 ○泡消火設備 ○連結散水設備 ○連結送水管 不活性ガス消火設備 ○（ ）
ガスの種類	○都市ガス（種別 供給圧力 Pa、一般ガス導管事業者名 ） ○液化石油ガス

※改修の場合は既存概要を示す

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

（1）国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学工事請負等契約細則（別記第1号）の工事請負契約基準、現場説明書、図面2 6枚及び本特記仕様書 3枚によるほか、●印の付いたものを適用する。

● 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)

● 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

● 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)

● 文部科学省電気機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)

● 文部科学省電気設備工事標準図(特記基準)(平成31年版)(以下「文科標準図」という。)

● 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)

● 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)

● 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(令和7年版)(以下「標準図」という。)

● 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記基準)(令和7年版)(以下「文科仕様書」という。)

● 文部科学省機械設備工事標準図(特記基準)(平成31年版)(以下「文科標準図」という。)

● 工事写真撮影要領(令和5年9月)

（2）建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。
＝なお、建築工事の特記仕様書は（ ）図、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図による＝

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

2）項目に記載の〔第 編 〕内表示番号は、標準仕様書の該当項目番号を示す。

3）項目に記載の〔第 編 〕内表示番号は、改修標準仕様書の該当項目番号を示す。

4）項目に記載の<第 編 〕内表示番号は、文科仕様書の該当項目番号を示す。

章 項 目 特 記 事 項

● 一 般 共 通 事 項

○適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速（Vo= m/s）
地表面粗度区分（ ）
○積雪荷重
建設省告示第1455号における区域 別表（ ）

この工事現場に、下記のいずれかの電気保安技術者を選任する。

項 目 名	電気保安技術者
1. 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	●
2. 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
3. 高等学校又はこれと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	●
4. 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	●
5. 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	●
6. 第1種電気工事士の資格を有する者	●
7. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	●
8. 第2種電気工事士の資格を有する者	●
9. 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

● 電気保安技術者
（第1編1.3.2）
[第1編1.3.2]

● 施工条件
（第1編1.3.3）
[第1編1.3.3]

● 環境への配慮
（第1編1.4.1）
[第1編1.4.1]

● 機材の品質等
（第1編1.4.2）
[第1編1.4.2]

現場説明書 別紙－2による。

（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

（2）下表に機材名が記載された製造業者等は、以下に指定する事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、以下に指定する事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。
○ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
○ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
○ 安定的な供給が可能であること。
○ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
○ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
○ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機材名

● 機材の検査等

機材の検査に伴う試験

（第1編1.4.5～6）
[第1編1.4.5～6]

● 施工調査

（第1編1.5.1～3）

○技能士

（第1編1.5.2）
[第1編1.6.2]

○ 施工の検査等

検査に伴う試験・立会い等

（第1編1.5.4～6）
[第1編1.6.5～7]

○ 技術検査

（第1編1.6.2）
[第1編1.7.2]

● 完成時の提出図書

（第1編1.7.1～5）
[第1編1.8.1～6]

○石綿含有材料の事前調査

（第1編4.1.2）

○他工事又は他工種との取合い

○電動機

（第2編1.2.1）
[第2編1.2.1]

●電源周波数

○5 0 Hz ● 6 0 Hz

●容量等の表示

●総合試運転調整

（第2編1.3.1～3）
[第2編1.3.1～3]

○足場その他

（第2編4.1.1）
[第1編2.2.1]

監督職員の行う機材の検査及び機材検査に伴う試験は下記による。

機 材 名	検 査 試 験	備 考
	○ ○	
	○ ○	
	○ ○	
	○ ○	
	○ ○	
事前調査 ●本工事 調査内容	●既存資料調査	
調査項目	●図示 ●既存建物天井、配管・配線経路等	
調査範囲	●図示 ●既存図面調査、現場立会い調査	
調査方法	●図示 ●既存図面調査、現場立会い調査	

下記の職種及び作業に適用する。

下記の施工部分は、監督職員の検査・立会い・検査に伴う試験を受ける。

施 工 部 分	検 査 立 会 試 験	備 考
風量試験	○ ○ ○	
静圧試験	○ ○ ○	
	○ ○ ○	
	○ ○ ○	

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名 称	体 裁 等
● 完成図・施工図 CADデータ（電子納品）及び電子データ	
● 完成図・施工図 原図 ○ A1版（ 部） ● A3版（ 1 部）	
● 完成図・施工図 複写図 複製本 ○ A1版（ 部） ● A3版（ 2 部）	
● 完成図・施工図(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）	
● 機器完成図(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）	
● 試験成績書(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）	
● 官公庁書類(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）	
● 保全指導書(※) 複写図 製本（A4版黒厚紙表紙金文字入り）（ 2 部）	
● 工事写真帳 ●紙媒体（ 1 部） ●電子データ（電子納品）	

・紙媒体はA4版ファイル綴じ、電子データはPDF形式とする。
・(※)は電子納品の対象とする。

電子納品は次による。

（1）貸与する設計図CADデータの著作者名：奈良先端科学技術大学院大学
ファイル形式：JWW
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図以外に使用しないこと。

（2）電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。

（3）電子成果品は、提出前にウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。

（4）提出方法及びファイル形式は以下による。
CADデータ：JWW、DXF及びPDF
提出方法：CD又はDVDに保存し、1 部提出する。

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有材料の事前調査を行う。
○採取箇所：
○サンプル数： 各1箇所（1箇所あたり3検体）

図面に特記なき場合は、工事区分表による。

換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

○5 0 Hz ● 6 0 Hz

（1）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
（2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。

●本工事 ○別途
調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）
●容量調整 ○水量調整 ○室内外空気温度の測定
○室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定 ○飲料水の水質の測定
○雑用水の水質の測定
○

○別契約の関係受注者が定置したものは無償で利用できる。
○本工事で設置する。（ M－※ 図参照）
○内部足場（ ○A種 ○種）○外部足場（○種 ○種）
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

○埋め戻し土・盛土
（第2編4.2.1）
[第2編7.1.1]

○建設発生土の処理方法
（第2編4.2.1）
[第2編7.1.1]

●耐震措置

○根切り土の良質土 ○山砂の類
以下の配管は、管の周囲に山砂の類を施す。
○構内に搬出し、適切に処分する。
六価クロム検査のうえ、適切に処分のこと。
<搬出先の名称及び所在地>
名 称：大阪湾広域臨海環境センター
所在地：泉大津沖埋立処分場

設備機器の固定は、次によるほか、すべて建築設備耐震設計施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。
（1）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の重量[kN]（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数 1.0 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度					
	機器種別	○特定の施設		●一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器 一般機器	
上 層 階	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
地階・1 階	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]
[名称： 、記号：] [名称： 、記号：]

（2）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の 1／2 とする。

○配管
（第2編第2章）
[第2編第2章]
<第2編1.1.1>
<第2編2.1.1>

（1）ステンレス鋼管の接合は、下記による。
○呼び径6 0 S u以下（O S A S 3 2 2 を満足した継手 ○ ）
（2）溶接部の非破壊検査 ○不要 ○要（ ）

○地中埋設標等
（第2編2.7.1～3）

（1）地中埋設標 ○要（図示による） ○不要
（2）埋設表示テープ ○要（排水管を除く） ○不要

○絶縁継手
（第2編2.2.12）
[第2編2.1.1]

図示の位置に取り付ける。

○試験
（第2編2.9.1～5）
[第2編2.7.1～5]

既設配管を含む部分の試験○要（方法及び圧力：通水試験）
○不要

○保温
（第2編3.1.1～6）
[第2編3.1.1～3]

標準仕様書第2編によるほか次による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
○多湿箇所は下記による。
室名：
○共同構内の保温種別は下記による。
ダクト： 配管：

○塗装
（第2編3.2.1）
[第2編3.2.1]

次の露出配管は、塗装又は記載の仕上げとする。
○屋外：○ドレン管（○指定色塗装 ○ ）
○金属電線管（○溶融亜鉛メッキ仕上げ[付着量300 g /㎡以上] ○指定色塗装）
○屋内：○金属電線管（○溶融亜鉛メッキ仕上げ ○指定色塗装）

●電線類
（第2編4.7.1）

電線及びケーブルはエコマテリアル仕様とする。

○既存躯体への穿孔
[第2編5.2.1]

はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に下記の方法により埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
○走査式埋設物調査 ○放射線透過検査

訂正 令和 年 月 日

管理技術者
建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 室内秀伸

業務名
奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事

承諾 検閲 作図
設計年月
令和8年3月

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学
課長 課長補佐 係長 担当者

工事名
奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事

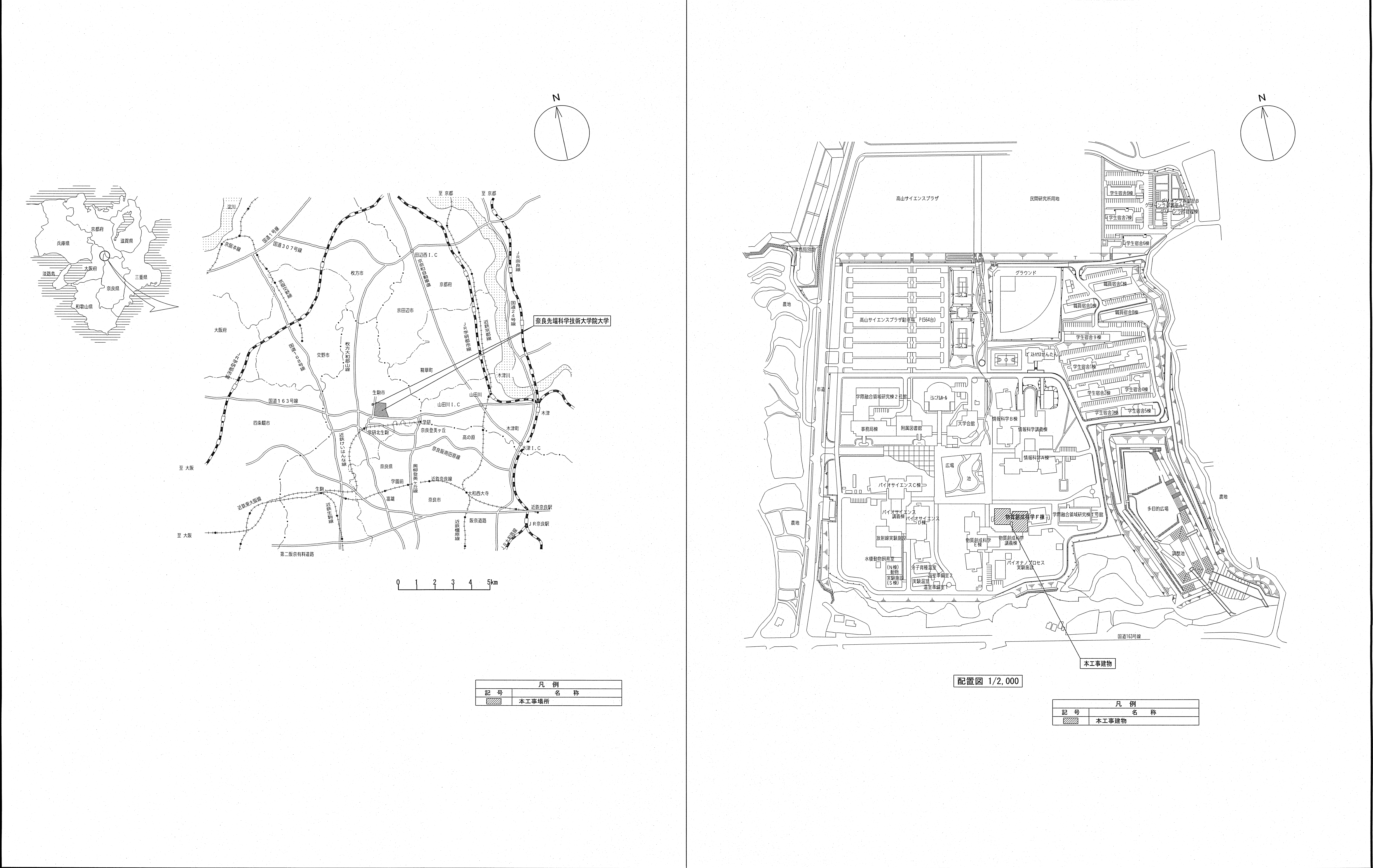
年度
令和8年度

図面名称
特記仕様書（1）











縮尺 図面番号
－ 特－1

○空気調和設備		○設計温湿度	<table><tr><td colspan="2">外 気</td><td colspan="4">屋 内</td></tr><tr><td colspan="2">一般系統</td><td colspan="2">一般系統</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>温 度</td><td>湿 度</td><td>温 度</td><td>湿 度</td><td>温 度</td><td>湿 度</td><td>湿 度</td></tr><tr><td>夏 季</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 季</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>	外 気		屋 内				一般系統		一般系統				温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	湿 度	夏 季	℃	%	℃	%	℃	%	冬 季	℃	%	℃	%	℃	%	○ダクト (第3編1.14.1) [第3編1.2.1]	○亜鉛鉄板 ○普通鋼板(厚1.6mm)	○配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1] <第2編2.1.1>	○排水設備	○システム構成 その他	○雨水利用設備	○システム構成 その他	別図による
		外 気		屋 内																																								
一般系統		一般系統																																										
温 度	湿 度	温 度	湿 度	温 度	湿 度	湿 度																																						
夏 季	℃	%	℃	%	℃	%																																						
冬 季	℃	%	℃	%	℃	%																																						
○鋼板製煙道 (第3編1.1.3) [第3編1.1.1]		○ダクト (第3編1.14.1 ～3) [第3編1.2.1]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ○スパイラルダクト(○低圧 ○ ○高圧1ダクト(範囲は図示による。))	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○事前調査 (第7編1.2.1)	○システム構成 その他	○配管材料 (第2編2.1.2) [第2編2.1.1]	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																																
		○チャンパー (第3編1.2.1) [第3編1.2.1]	(1)内貼を施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2)空気調和機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。 (3)外壁に直するガラリに直接取り付けけるチャンパーは雨水の滞留のないように施工する。	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																															
○ダンパー (第3編1.15.6 ～14) [第3編1.3.1]		○配管材料 (第2編2.1.1 ～2) [第2編2.1.1] <第2編2.1.1>	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ○スパイラルダクト(○低圧 ○ ○高圧1ダクト(範囲は図示による。))	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○事前調査 (第7編1.2.1)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																																
		○弁類 (第2編2.2.1 ～6) [第2編2.1.1]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ○スパイラルダクト(○低圧 ○ ○高圧1ダクト(範囲は図示による。))	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																															
○保温及び消音内貼 (第2編3.1.1 ～2) [第2編3.1.1] [第2編3.1.3]		○配管材料 (第2編2.1.1 ～2) [第2編2.1.1] <第2編2.1.1>	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ○スパイラルダクト(○低圧 ○ ○高圧1ダクト(範囲は図示による。))	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○事前調査 (第7編1.2.1)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																																
		○ダンパー (第3編1.15.6 ～14) [第3編1.3.1]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ○スパイラルダクト(○低圧 ○ ○高圧1ダクト(範囲は図示による。))	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																															
●換気設備		●ダクト (第3編1.14.1 ～3) [第3編1.2.1] <第3編1.2.1 ～4>	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト(○低圧 ○ ●高圧1、2ダクト(範囲は図示による。)) ○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)) ●フレキシブルダクト	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○事前調査 (第7編1.2.1)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																																
		○ダンパー (第3編1.15.6 ～14) [第3編1.3.1]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト(○低圧 ○ ●高圧1、2ダクト(範囲は図示による。)) ○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)) ●フレキシブルダクト	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																															
○シールする排気ダクトの系統		○チャンパー (第3編1.14.4) [第3編1.2.1]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト(○低圧 ○ ●高圧1、2ダクト(範囲は図示による。)) ○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)) ●フレキシブルダクト	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○事前調査 (第7編1.2.1)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																																
		○保温 (第2編3.1.4) [第2編3.1.3]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト(○低圧 ○ ●高圧1、2ダクト(範囲は図示による。)) ○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)) ●フレキシブルダクト	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																															
●換気設備		●ダクト (第3編1.14.1 ～3) [第3編1.2.1] <第3編1.2.1 ～4>	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト(○低圧 ○ ●高圧1、2ダクト(範囲は図示による。)) ○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)) ●フレキシブルダクト	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○事前調査 (第7編1.2.1)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																																
		○ダンパー (第3編1.15.6 ～14) [第3編1.3.1]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト(○低圧 ○ ●高圧1、2ダクト(範囲は図示による。)) ○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)) ●フレキシブルダクト	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																															
○シールする排気ダクトの系統		○チャンパー (第3編1.14.4) [第3編1.2.1]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングルフランジ工法) ●スパイラルダクト(○低圧 ○ ●高圧1、2ダクト(範囲は図示による。)) ○厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より1番手厚いものとする。(範囲は図示による。)) ●フレキシブルダクト	○配管材料は(○下記による ○図示による。)	○システム構成 その他	○事前調査 (第7編1.2.1)	○システム構成 その他	○排水設備	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○システム構成 その他	○別図による																																
		○保温 (第2編3.1.4) [第2編3.1.3]	○低圧ダクト(○コーナーボルト工法(長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○アングル																																									

項 目	特 記 事 項				項 目	特 記 事 項					
●電線・ケーブル等の規格 電気(第2編1.1.1) 電気(第6編1.1.1) 電気[第2編1.2.1]	電線・ケーブル等の規格、記号で公共仕様書に定める以外のものは下記による。				○特殊場所 電気(第2編2.1.1～9)	特殊場所は下記による。					
	呼 称	規 格	記 号			特 殊 場 所 の 内 容	適用する場所	危険場所の種別	危険物の種類		
						○湿気の多い場所	床下ピット				
						○気密性を要する場所					
						○ガス蒸気危険場所					
●電線保護物類の規格 電気(第2編1.2.1～10) 電気(第6編1.2.1～3)	電線保護物の規格で公共仕様書に定める以外のものは下記による。										
	呼 称	規 格	記 号								
○ケーブルの 端末処理等 電気(第2編2.1.1) 電気[第2編2.1.2]	ケーブルの端末処理で、端末処理材を用いて処理する場所は下記による。				表－1 機器標準取付高さ						
	施工箇所及びケーブル種別	摘 要									
	ケーブルの直線・分岐処理で、直線・分岐処理材を用いて処理する場所は下記による。										
	種 別	レジンモールド加工	モールド加工(工場加工)								
	施工箇所及びケーブル種別										
●電線の色別 電気(第2編2.1.3) 電気(第3編1.1.4) 電気[第2編2.1.4]	配線及び主回路の導体の色別は、次による。										
	● 標準仕様書による。										
	○ 配線及び主回路の導体の色別は、下記による。										
	電気方式	第 1 相	第 2 相	第 3 相	中性相						
	高 圧	三相 3 線式	赤	白	青						
	低 圧	三相 3 線式	赤	接地側 白	黒	白					
		三相 4 線式	赤	青	黒						
		単相 2 線式	赤(青)	接地側 白							
		単相 3 線式	赤	青							
	直流 2 線式	青	白								
	配 線	(1) 分岐回路の色別	分岐前の色別による。								
		(2) 発電回路の第 2 相	接地側の電線の色は黄色とする(無停電回路含む)								
		(3) 切替回路の 2 次側	規定しない。								
		(4) 漏電遮断器回路の接地	専用接地極とした時の接地線は、監督職員と協議し、一般接地線と色別を区別する。								
	分 電 盤 類	共通事項	配線(1)～(4)による。								
左右・上下及び遠近の別は、正面から見た状態		ア) 左右の別は、左からとする。 イ) 上下の別は、上からとし、直流 2 線式は、下からとする。 ウ) 遠近の別は、近いほうからとし、直流 2 線式は、遠いほうからとする。									
備考											
(a) 配電盤類については、次による。											
(1) 左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし、分電盤類による。											
(2) 三相回路又は単相 3 線式回路より分岐する回路は、分岐前の色別による。											
(3) 三相交流の相は、第 1 相、第 2 相、第 3 相の順に相回転するものとする。											
(b) 屋外架空配線の色別は、本表によらずによい。											
(c) 接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。											
○非常照明装置 の照度測定 箇所 電気(第2編2.18.2) 電気[第2編2.20.2]	1 部屋あたり 箇所以上測定し、監督職員に報告する。										
訂正	令和 年 月 日	設計事務所名			管理技術者			工事名		年度	
		株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所			建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸			国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学		奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	
		業務名			承諾			課長		令和8年度	
		奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務			検図			課長補佐		縮尺	
					作図			係長		図面番号	
					設計年月 令和8年3月			担当者		特記仕様書(3)	
										特-3	



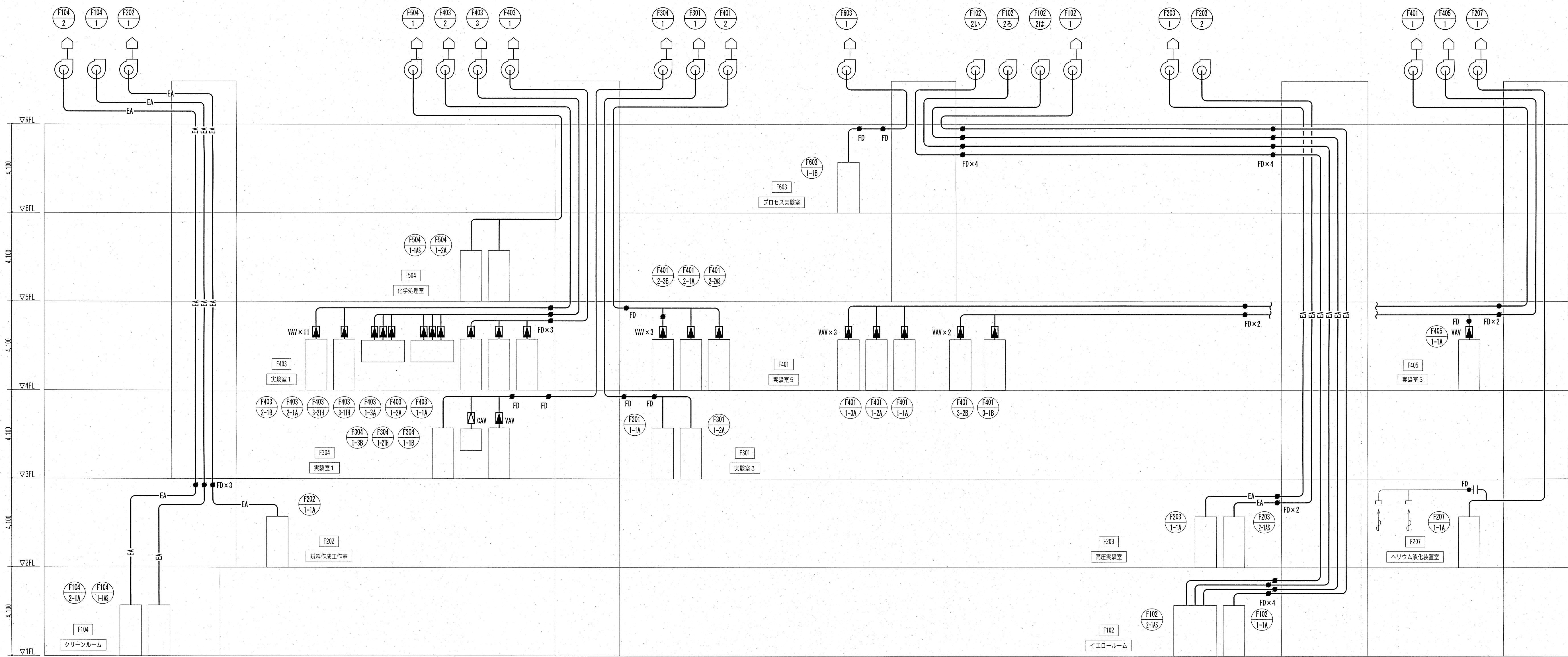
換気機器表（改修）															
共通仕様	1. 電源周波数は60Hzとする。 2. 防振記号は、「A:スプリング式防振架台（溶融亜鉛メッキ仕上）、B:防振ゴム、C:防振吊金物」とする。														
	記号	機器名称	形式	台数	仕様				電動機			防振	設置場所		備考
				台	機器 接続径 mm	風量 m3/h	機外静圧 Pa	羽根 サイズ	電源 容量 φ-V	消費電力 kW	起動 方式		階	室名	
	F102-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	120		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F102-2-い	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	480		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、たわみ継手
	F102-2-ろ	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	480		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、たわみ継手
	F102-2-は	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	480		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、たわみ継手
	F104-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	960	490		3-200	0.75	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、たわみ継手
	F104-2	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	960	160		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F202-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	400		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F203-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	600	100		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、たわみ継手 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F203-2	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	410		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、たわみ継手
	F207-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	660	210		3-200	0.4	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F301-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	620		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F304-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	750		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F401-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	1200		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F401-2	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	880		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F-403-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	490		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F403-2	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	640		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F403-3	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	530		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F-405-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	640		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F504-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	1100		3-200	1.5	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ
	F603-1	ドラフト用送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,260	533		3-200	0.75	直入	B	R	屋外機置場	防振ゴム架台、相フランジ、 たわみ継手、樹脂製ベンチレーター250φ

訂正	令和 年 月 日	設計事務所名	管理技術者				国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度	
		 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸								奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	令和8年度	
		業務名	承諾	検図	作図	設計年月 令和8年3月	課長				課長補佐	係長	担当者
		奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務			 								
											図面名称	縮尺	図面番号
											物質創成科学F棟西 換気設備 機器表（改修）	A1：－ A3：－	M-3

凡 例

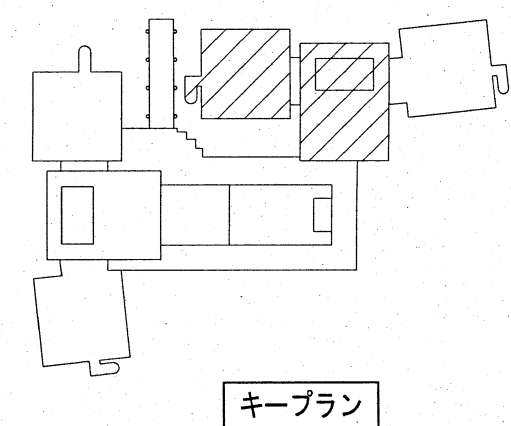
記 号	名 称	備 考
	新設	耐食性スパイラルダクト（塩ビ鋼板製）
	既設	//
	既設ダクト接続部	
	FD	内部構造コーティング塗装
	VAV（取外し再取付）	
	CAV（取外し再取付）	



※VAV、CAV取外し再取付後の運転制御、風量等の確認・調整は本工事とする。





系統図

訂正	令和 年 月 日	設計事務所名		管理技術者		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度
		株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所		建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸		課長 課長補佐 係長 担当者				奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事	令和 8 年度
		業務名		承諾	検図	作図	設計年月		図面名称		図面番号
		奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務					令和8年3月		物質創成科学 F 棟西 換気設備 系統図（改修）		A1 : - A3 : -
											M-4







凡 例	
記 号	名 称
	新設
	既設



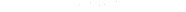











注記) 1.  の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。

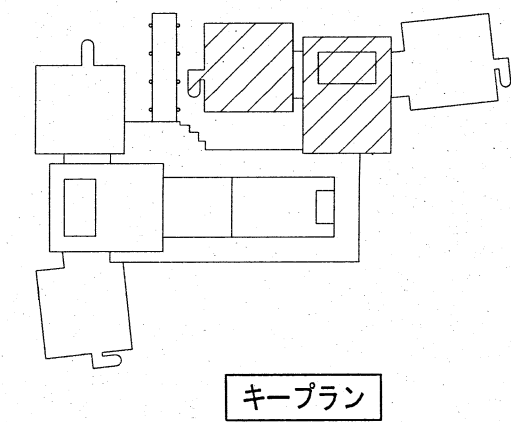
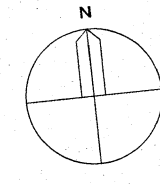
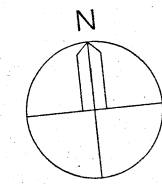
2.  書きの室名は二重天井 (OH-2700) 部分を示す。

3. 天井仕上り材は下記による。

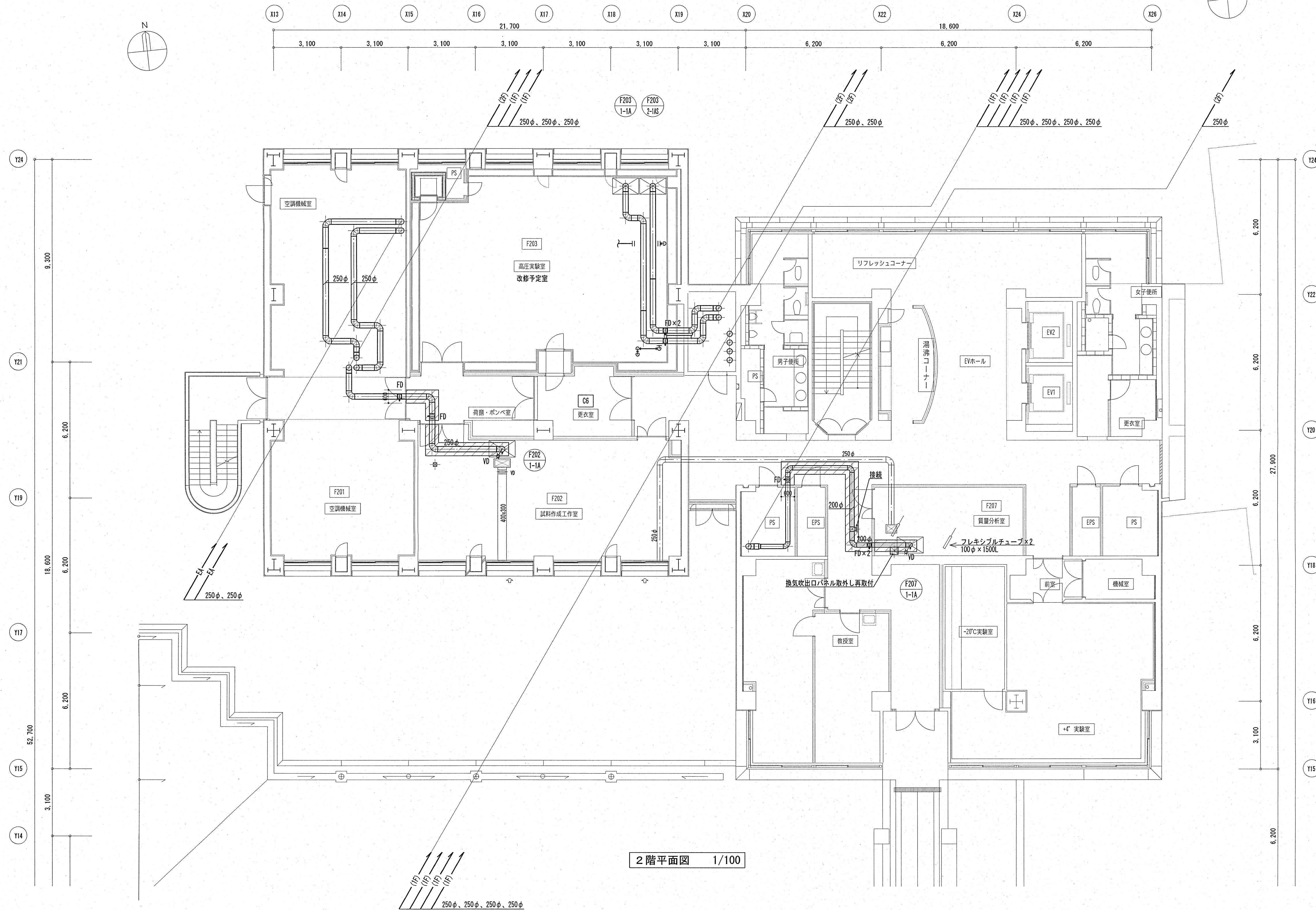
 C6	: 化粧げい酸カルシウム板 (6mm)
 R9	: ロックウール化粧吸音板 (9mm)
 R12	: 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
 EP	: 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)

記載なし : 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)

訂正	令和	年	月	日	設計事務所名 管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所				国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度		
									課長 課長補佐 係長 担当者				奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事	令和 8 年度		
					業務名	承諾	校図	作図	設計年月 令和8年3月	    				図面名称	縮尺	図面番号
					奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務			 		    				物質創成科学 F 棟西 換気設備 1 階平面図（改修）	A1：1/100 A3：1/200	M-1



キープラン



2階平面図 1/100

F207	ヘリウム液化装置室	
フレキシブルチューブ		2
100φ×1500L		

F207	ヘリウム液化装置室	
VHS-	300×300	1
0A-	360 m3/h	

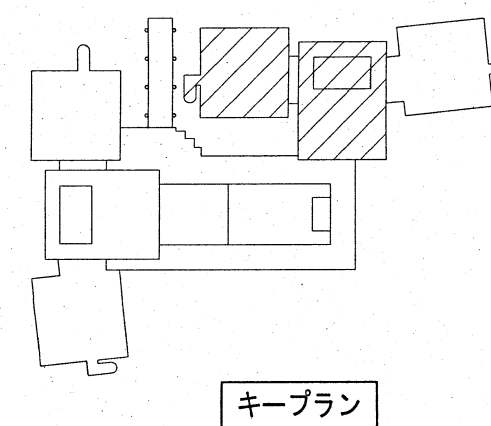
凡例



記号	名称
〃	新設
〃	既設


- 注記) 1. 〃の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。
2. 〃書きの室名は二重天井 (OH=2700) 部分を示す。
3. 天井仕上材は下記による。


C6	化粧下地・珪藻土ボード (6mm)
R9	ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)
記載なし: 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)	

訂正	令和 年 月 日	設計事務所名	管理技術者	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
		株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	課長	奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	令和8年度
		業務名	承諾	課長補佐	図面名称	縮尺
		奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務	検図	係長	物質創成科学F棟西 換気設備 2階平面図 (改修)	図面番号
			作図	担当者		A1: 1/100
			設計年月			A3: 1/200
			令和8年3月			M-6



凡 例	
記 号	名 称
	新設
	既設

注記) 1.  の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。

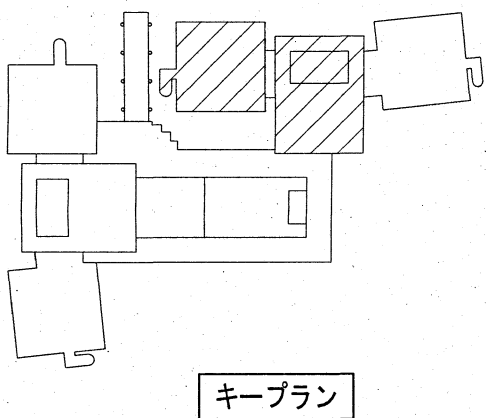
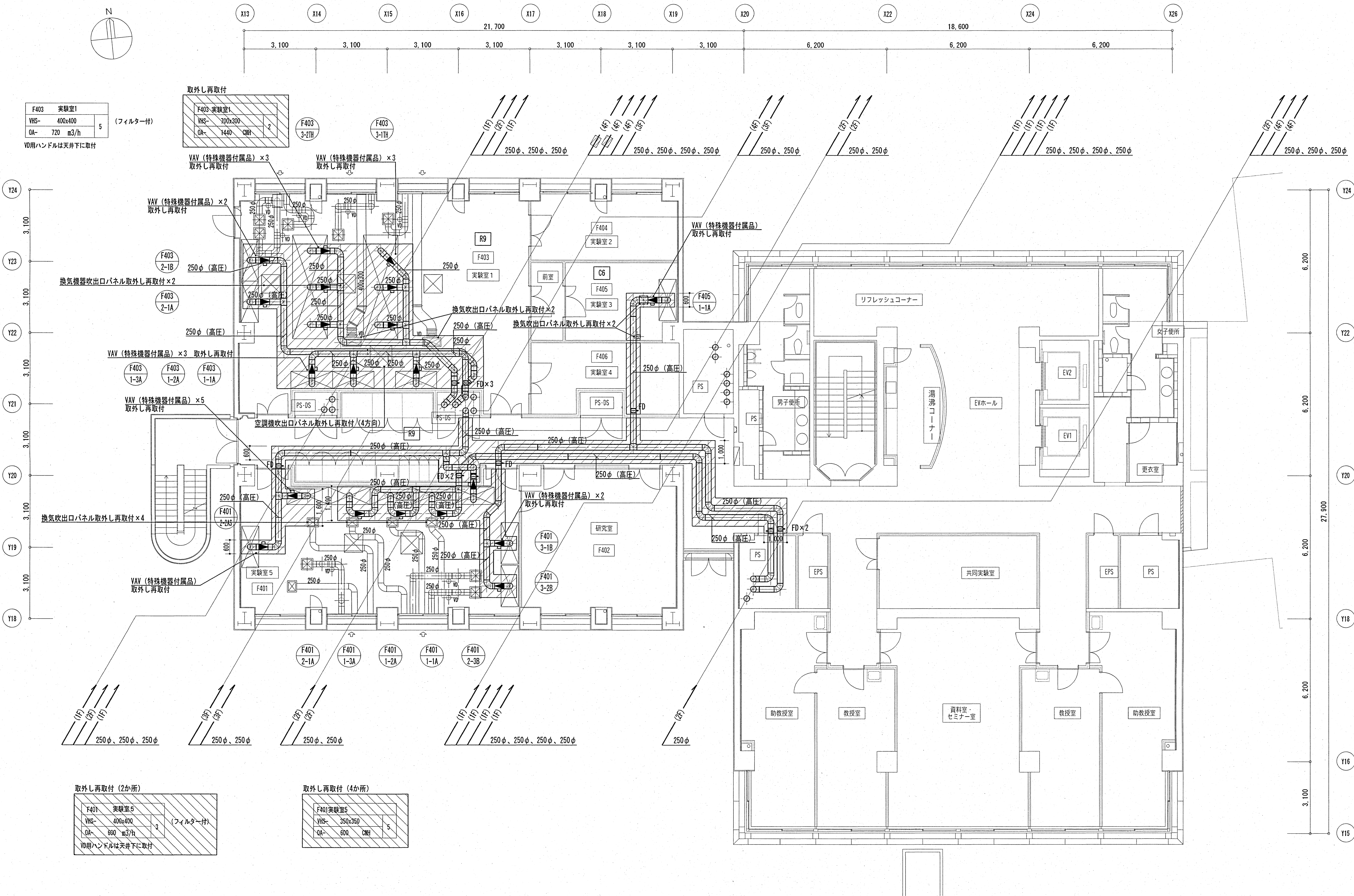
2.  書きの壁名は二重天井 (CH=2700) 部分を示す。

3. 天井仕上り材は下記による。

D6	: 化粧けい酸カルシウム板 (6mm)
R9	: ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	: 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	: 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)

記載なし: 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)

訂正	令和 年 月 日	設計事務所名 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	年度 令和8年度	
		業務名 奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務	承諾 富田	検印 富田	作図 森田	設計年月 令和8年3月	課長 富田	課長補佐 森田	係長 森田	担当者 富田 小園
			図面名称 物質創成科学F棟西 換気設備 3階平面図 (改修)				縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M-7		



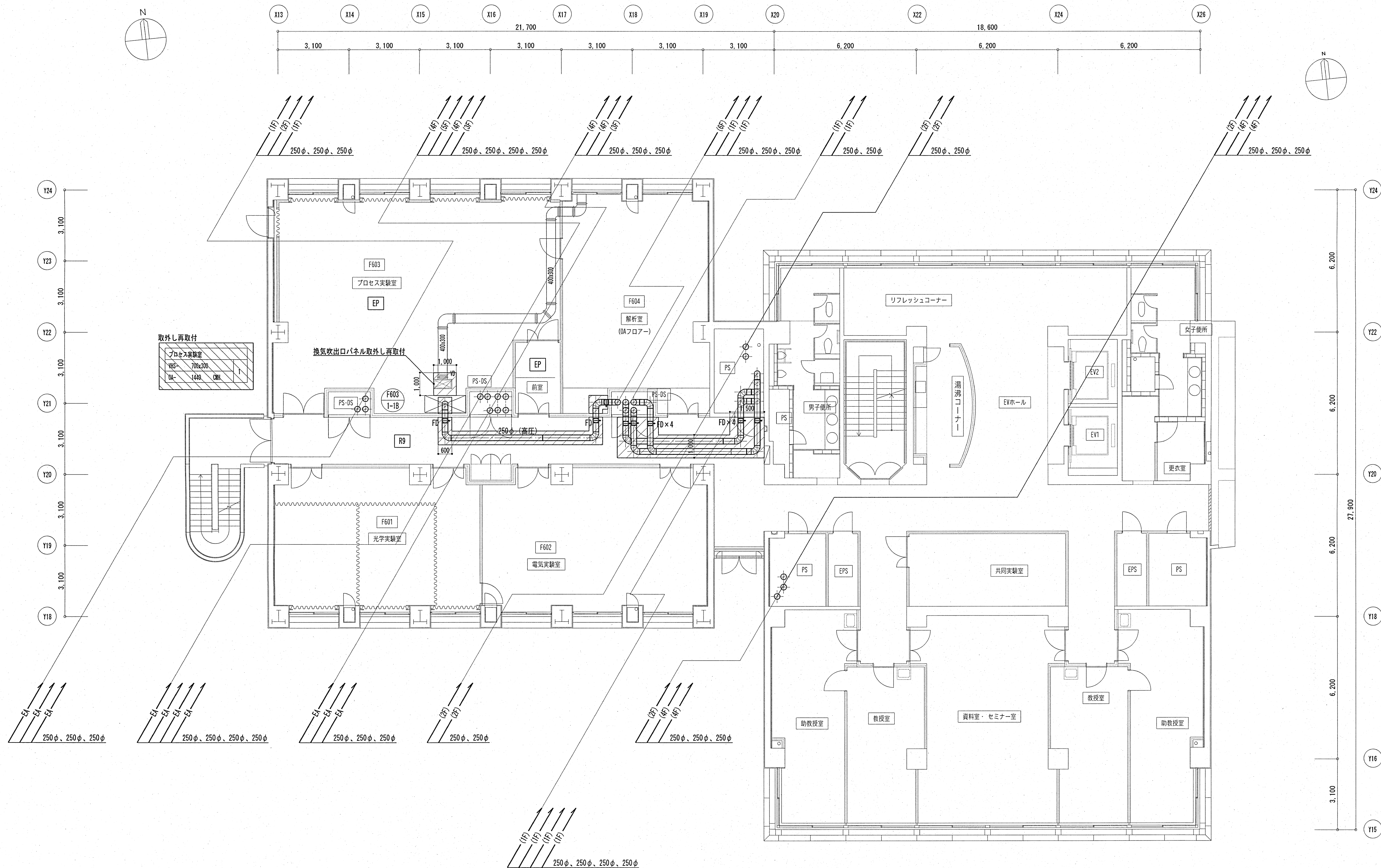
凡 例

記 号	名 称
	新設
	既設

- 注記) 1. の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。
2. 書きの室名は二重天井 (OH=2700) 部分を示す。
3. 天井仕上材は下記による。
- | | |
|------|-------------------------|
| C6 | : 化粧けい酸カルシウム板 (6mm) |
| R9 | : ロックウール化粧吸音板 (9mm) |
| R12 | : 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm) |
| EP | : 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃) |
| 記載なし | : 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃) |

4 階平面図 1/100

訂正 令和 年 月 日	設計事務所名 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所		管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事		年度 令和 8 年度				
					課長		課長補佐		係長		担当者				
	業務名 奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務		承諾		換図		作図		設計年月 令和8年3月						
										図面名称 物質創成科学 F 棟西 換気設備 4 階平面図 (改修)		縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200		図面番号 M-8	



6階平面図 1/100

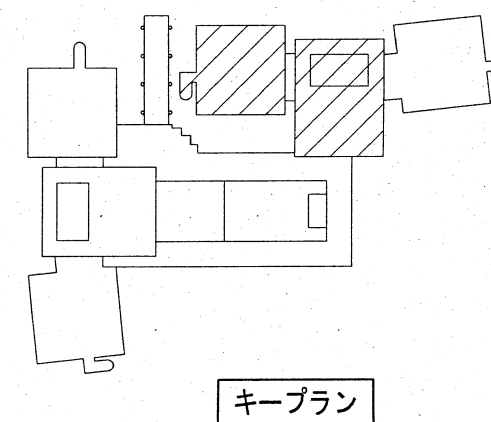
凡 例

記 号	名 称
	新設
	既設

- 注記) 1. の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。
2. の室名は二重天井 (CH=2700) 部分を示す。
3. 天井仕上材は下記による。



C6	: 化粧けい酸カルシウム板 (6mm)
R9	: ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	: 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	: 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)
記載なし: 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)	

訂正	令和	年	月	日		設計事務所名	管理技術者				国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度	
						株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸								奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事		令和 8 年度
						業務名	承諾	検図	作図	設計年月					図面名称	縮尺	図面番号
						奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務	宮内	宮内	奈良	令和8年3月					物質創成科学 F 棟西 換気設備 6 階平面図 (改修)	A1 : 1/100 A3 : 1/200	M-10










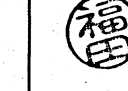

凡 例

記 号	名 称
_____	新設
_____	既設

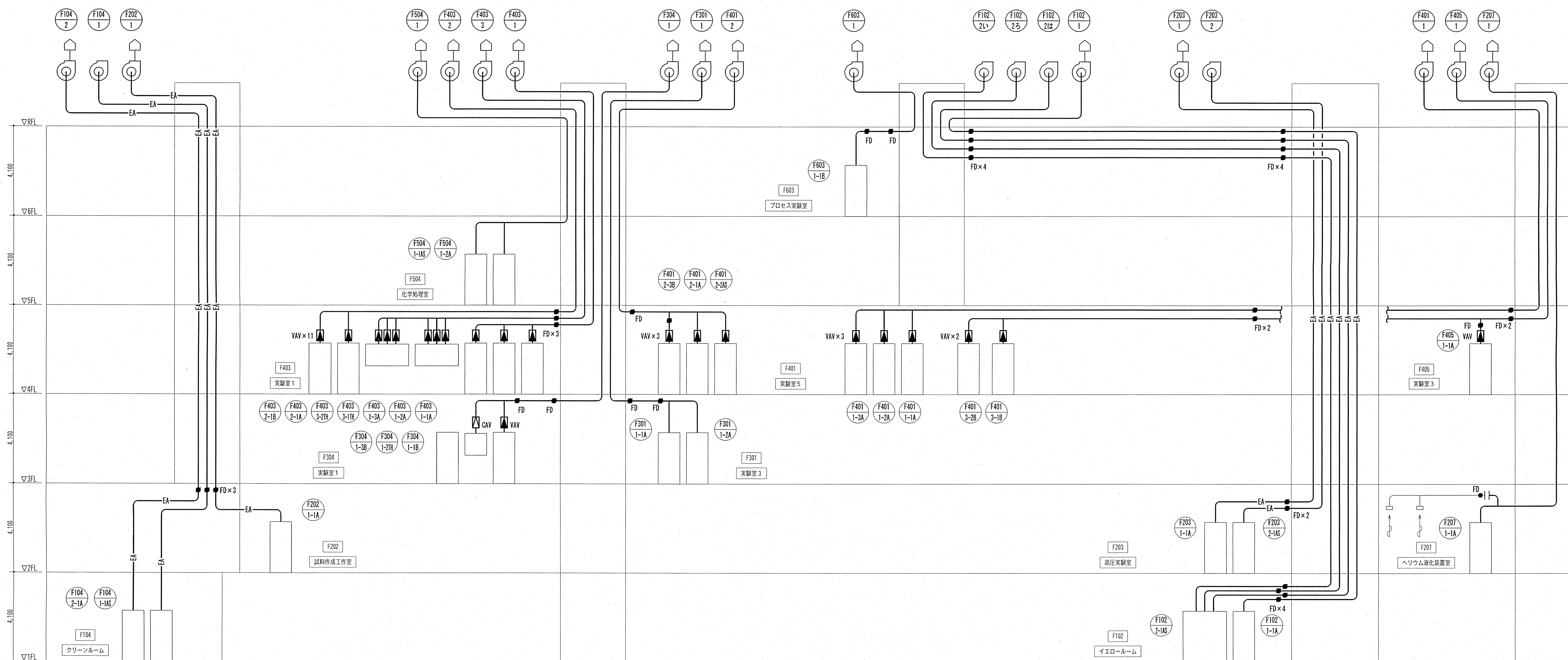
- 注記) 1.  の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。
2.  書きの室名は二重天井 (OH-2700) 部分を示す。
3. 天井仕上材は下記による。
- | | |
|-----|------------------------|
| C6 | ：化粧化粧カルシウム板 (6mm) |
| R9 | ：ロックウール化粧吸音板 (9mm) |
| R12 | ：着色ロックウール化粧吸音板 (12mm) |
| EP | ：石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃) |
- 記述なし：化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)
4.  部キャットウォーク天井は天取し外取付とする。

訂正	令和	年	月	日		設計事務所名 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	年度 令和8年度
						業務名 奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務	課長	課長補佐	係長	担当者	図面名称 物質創成科学F棟西 換気設備 R階平面図 (改修)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M-11
							承諾	校図	作図	設計年月 令和8年3月			

換気機器表（撤去）																	
共通仕様	1. 電源周波数は60Hzとする。 2. 下記機器は全て、実験什器工事とする。 3. 防振記号は、「A:スプリング式防振架台(溶融亜鉛メッキ仕上)、B:防振ゴム、C:防振吊金物」とする。																
	記号	機器名称	形式	台数	仕様				電動機			付属品	防振	設置場所		備考	
					機器 接続径	風量	機外静圧	羽根 サイズ	電源 容量	消費電力	起動 方式	スイッチ					
												個					階
F102-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	116		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH-B(セコ-化工機) PVC製ベンフィルター共		
F102-2-い	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	481		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH-B(セコ-化工機)		
F102-2-ろ	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	481		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH-B(セコ-化工機)		
F102-2-は	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	481		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH-B(セコ-化工機)		
F104-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	960	494		3-200	0.75	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH(セコ-化工機)		
F104-2	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	960	164		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH-B(セコ-化工機) PVC製ベンフィルター共		
F202-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	404		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH(セコ-化工機) PVC製ベンフィルター共		
F203-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	600	101		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH-B(セコ-化工機) PVC製ベンフィルター共		
F203-2	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	720	412		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH(セコ-化工機)		
(F207-1)	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	660	210		3-200	0.4	直入	1	B	R	屋外機置場	NSF102-LH2-B(ダクトン) PVC製ベンフィルター共		
F301-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	620		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	100KSSRH-0(協和化工) PVC製ベンフィルター共		
F304-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	750		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	100KSSRH-0(協和化工) PVC製ベンフィルター共		
F401-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	1200		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	CTF201-RH1-B(セコ-化工機) PVC製ベンフィルター共		
F401-2	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	880		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	100KSSRH-0(協和化工) PVC製ベンフィルター共		
F-403-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	490		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	100KSSRH-0(協和化工) PVC製ベンフィルター共		
F403-2	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	640		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	100KSSLH-0(協和化工) PVC製ベンフィルター共		
F403-3	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	530		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	100KSSLH-0(協和化工) PVC製ベンフィルター共		
F-405-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	640		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	100KSSRH-0(協和化工) PVC製ベンフィルター共		
F504-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,800	1100		3-200	1.5	直入	1	B	R	屋外機置場	CTF151-RH1-B(セコ-化工機) PVC製ベンフィルター共		
F603-1	排気送風機	ストレートシロッコファン（消音形）	1	250	1,260	533		3-200	0.75	直入	1	B	R	屋外機置場	CES101V-RH-B(セコ-化工機) PVC製ベンフィルター共		

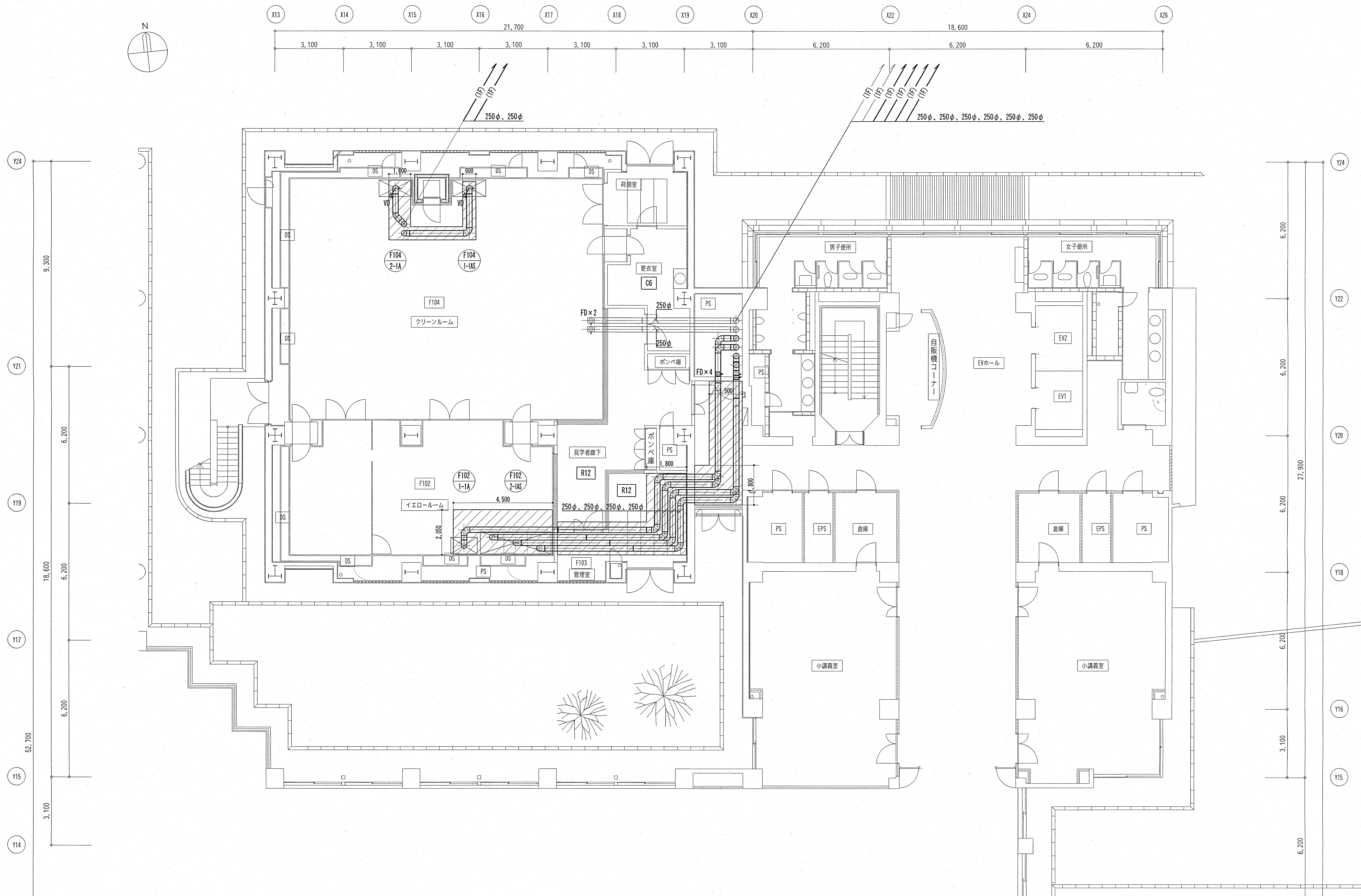
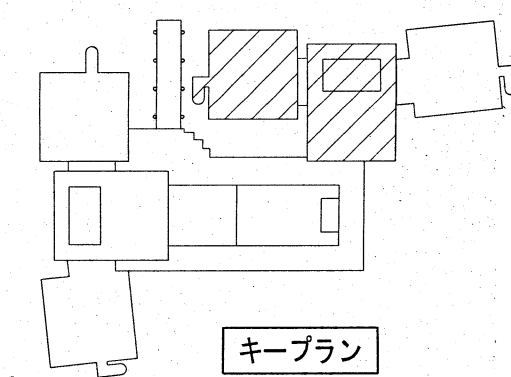
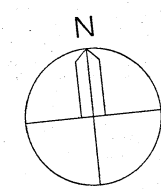
訂正	令和 年 月 日	設計事務所名	管理技術者	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度
		 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	建築設備士 登録番号 第16E1-0059R6号 室内秀伸	課長 課長補佐 係長 担当者				奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	令和8年度
		業務名	承諾 検図 作図	設計年月 令和8年3月				図面名称	縮尺 図面番号
		奈良先端大物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務	  	    				物質創成科学F棟西 換気設備 機器表（撤去）	A1：－ A3：－ M-12

凡 例	
_____	撤去
_____	残置
—— ——	残置ダクト切断部
●	FD
◀▶	VAV（取外し再取付）
◻	CAV（取外し再取付）



系統図

訂正	令和	年	月	日		設計事務所名 管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	年度 令和8年度
						業務名 奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務	課長 課長補佐 係長 担当者	図面名称 物質創成科学F棟西 換気設備 系統図 (撤去)	縮尺 A1:- A3:- M-13
						承諾 模写 作図			
						設計年月 令和8年3月			









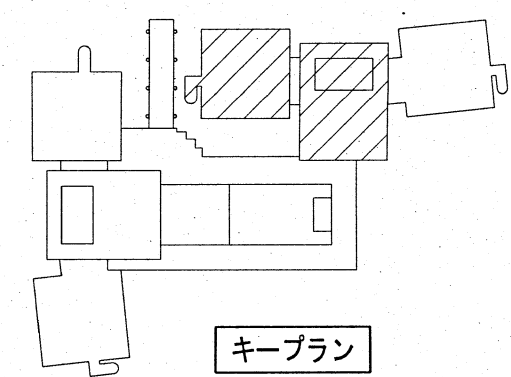
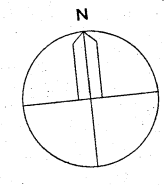
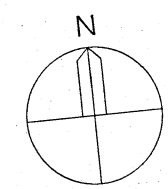
1 階平面図 1/100

凡 例	
記 号	名 称
	撤去
	残置

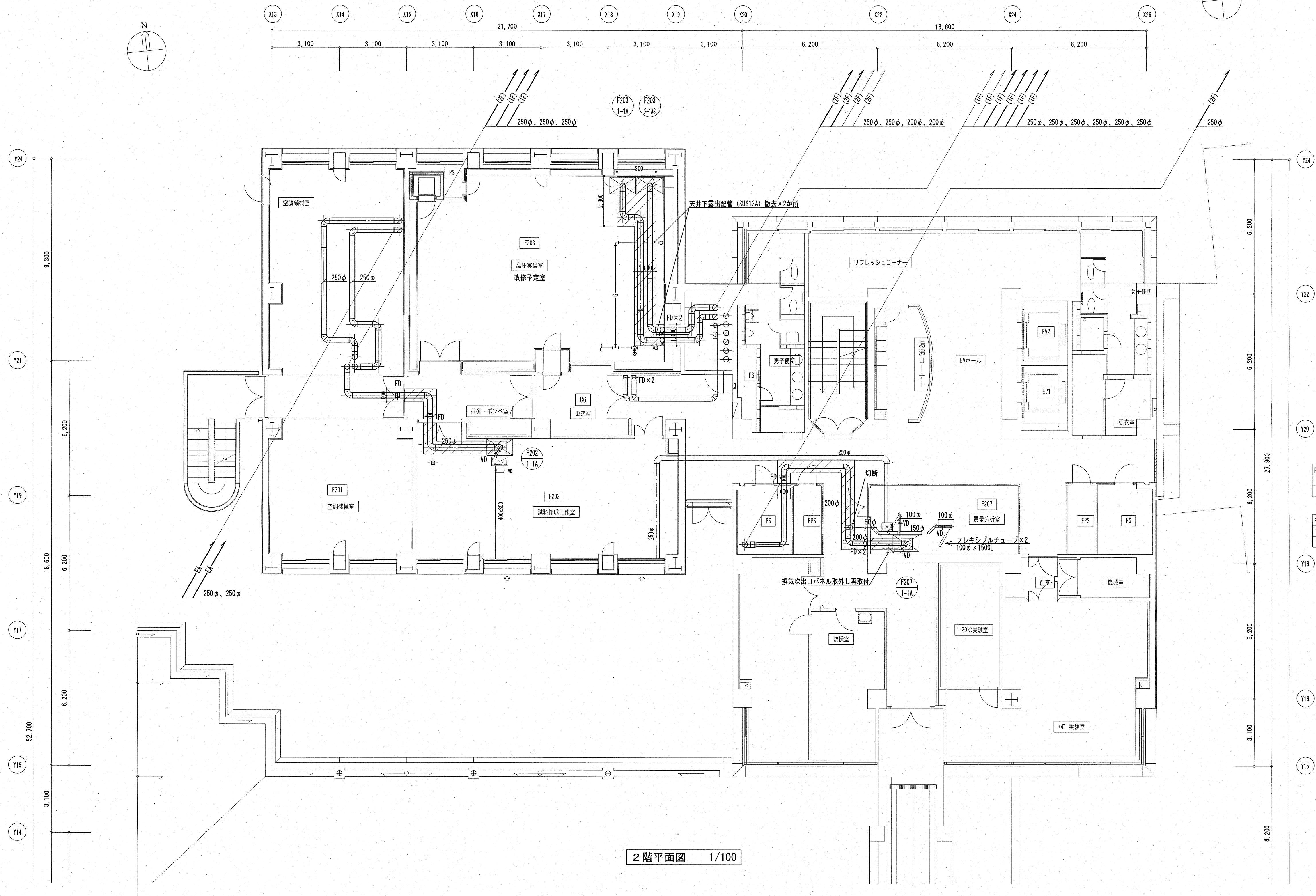
注記) 1. の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。
2. 書きの室名は二重天井 (OH=2700) 部分を示す。
3. 天井仕上材は下記による。

C6	: 化粧いすかシウム板 (6mm)
R9	: ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	: 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	: 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)
記載なし: 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)	

訂正	令和 年 月 日		設計事務所名	管理技術者				国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度
			 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸				課長 課長補佐 係長 担当者				奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事	令和 8 年度
業務名	承諾	検図	作図	設計年月 令和8年3月	    	図面名称	縮尺	図面番号					
奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務						物質創成科学 F 棟西 換気設備 1 階平面図 (撤去)	A1 : 1/100 A3 : 1/200	M-14					



キープラン



2階平面図 1/100

F207	ヘリウム液化装置室
フレキシブルチューブ	2
100φ×1500L	

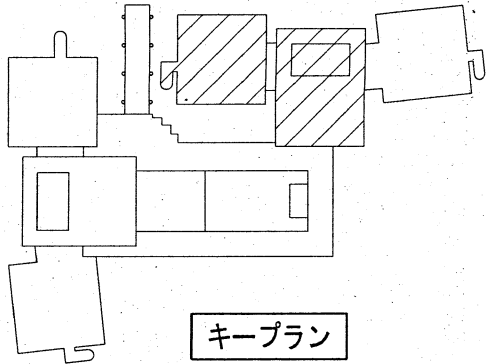
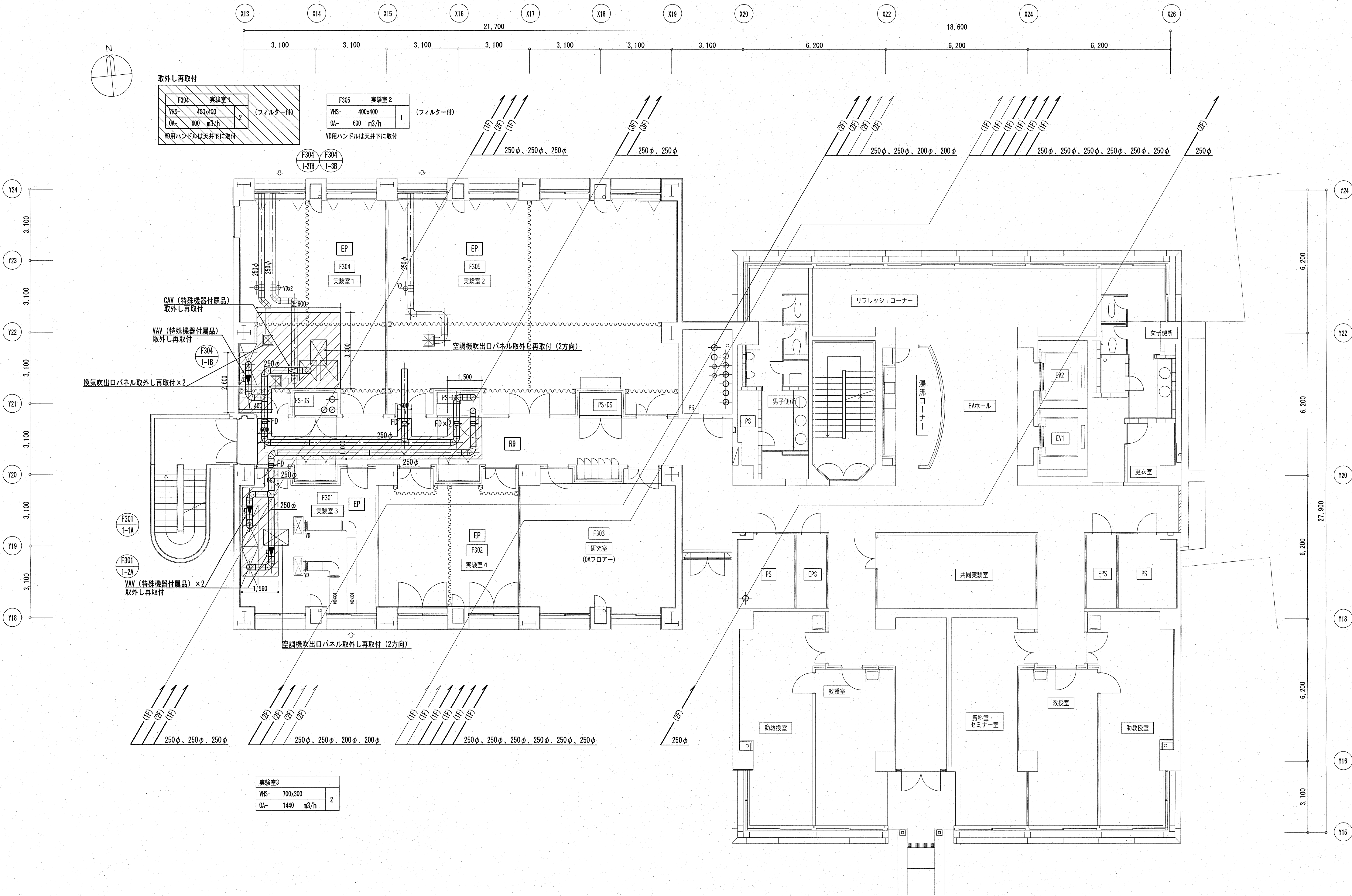
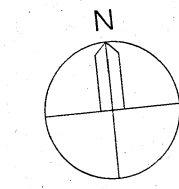
F207	ヘリウム液化装置室
WIS-	300×300
0A-	300 m3/h
残置	1

凡例

記号	名称
	撤去
	残置

- 注記) 1. の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。
2. 書きの室名は二重天井 (CH=2700) 部分を示す。
3. 天井仕上材は下記による。
- | | |
|------|-------------------------|
| C6 | : 化粧けい酸カルシウム板 (6mm) |
| R9 | : ロックウール化粧吸音板 (9mm) |
| R12 | : 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm) |
| EP | : 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃) |
| 記載なし | : 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃) |

訂正	令和 年 月 日	設計事務所名	管理技術者	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名	年度
		株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	課長 課長補佐 係長 担当者	奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	令和8年度
		業務名	承諾 検図 作図		図面名称	図面番号
		奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務	設計年月 令和8年3月		物質創成科学F棟西 換気設備 2階平面図 (撤去)	A1 : 1/100 A3 : 1/200 M-15



3 階平面図 1/100

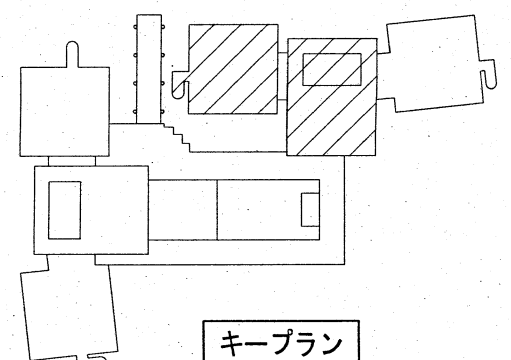
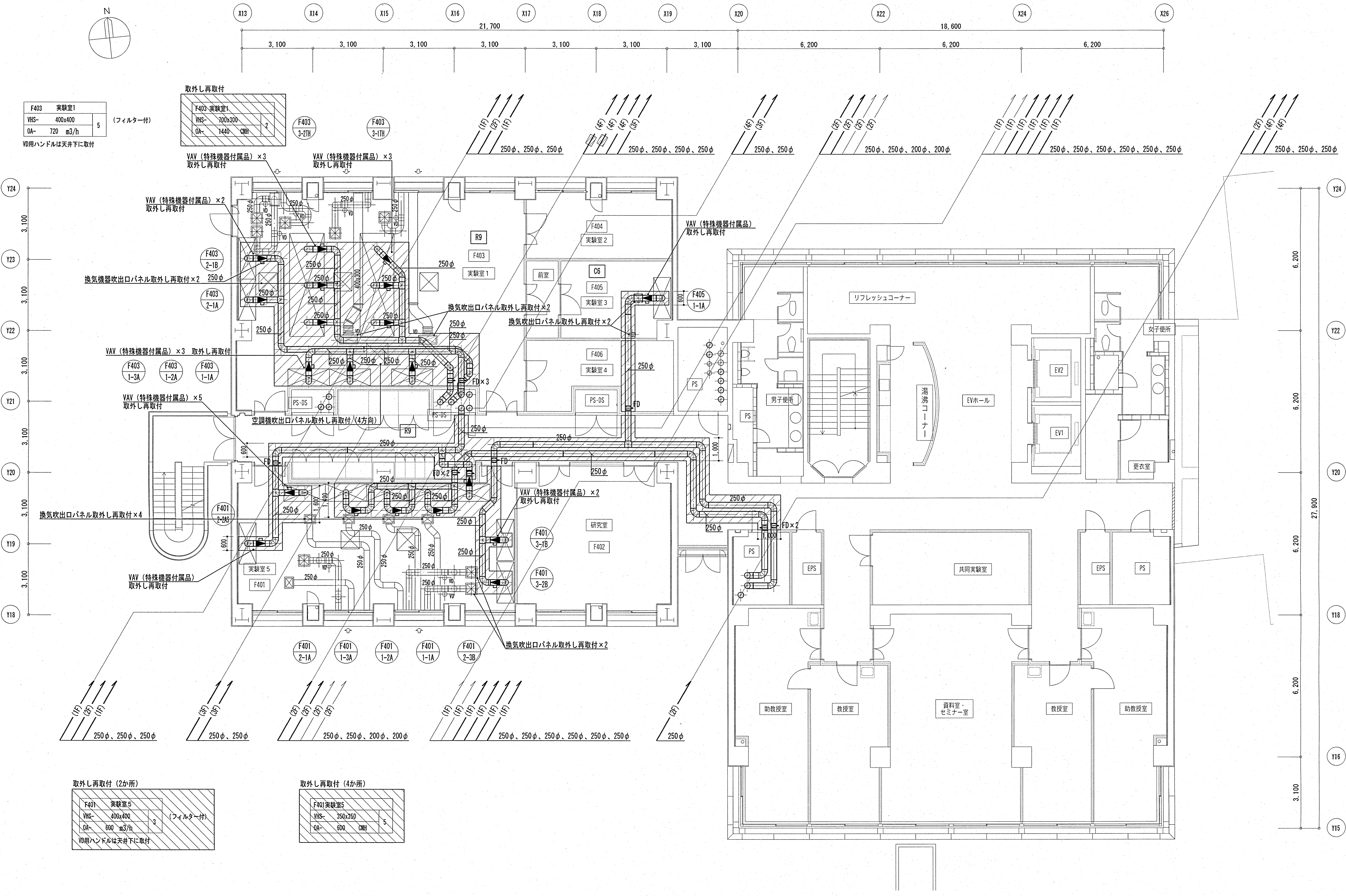
凡 例

記 号	名 称
	撤去
	残置

- 注記) 1. の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。
2. 書きの室名は二重天井 (CH=2700) 部分を示す。
3. 天井仕上材は下記による。

C6	: 化粧いすかシウム板 (6mm)
R9	: ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	: 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	: 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)
記載なし: 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)	

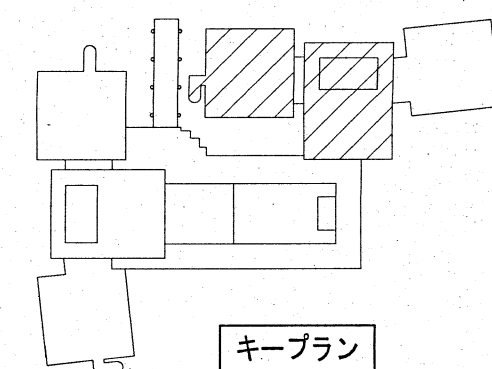
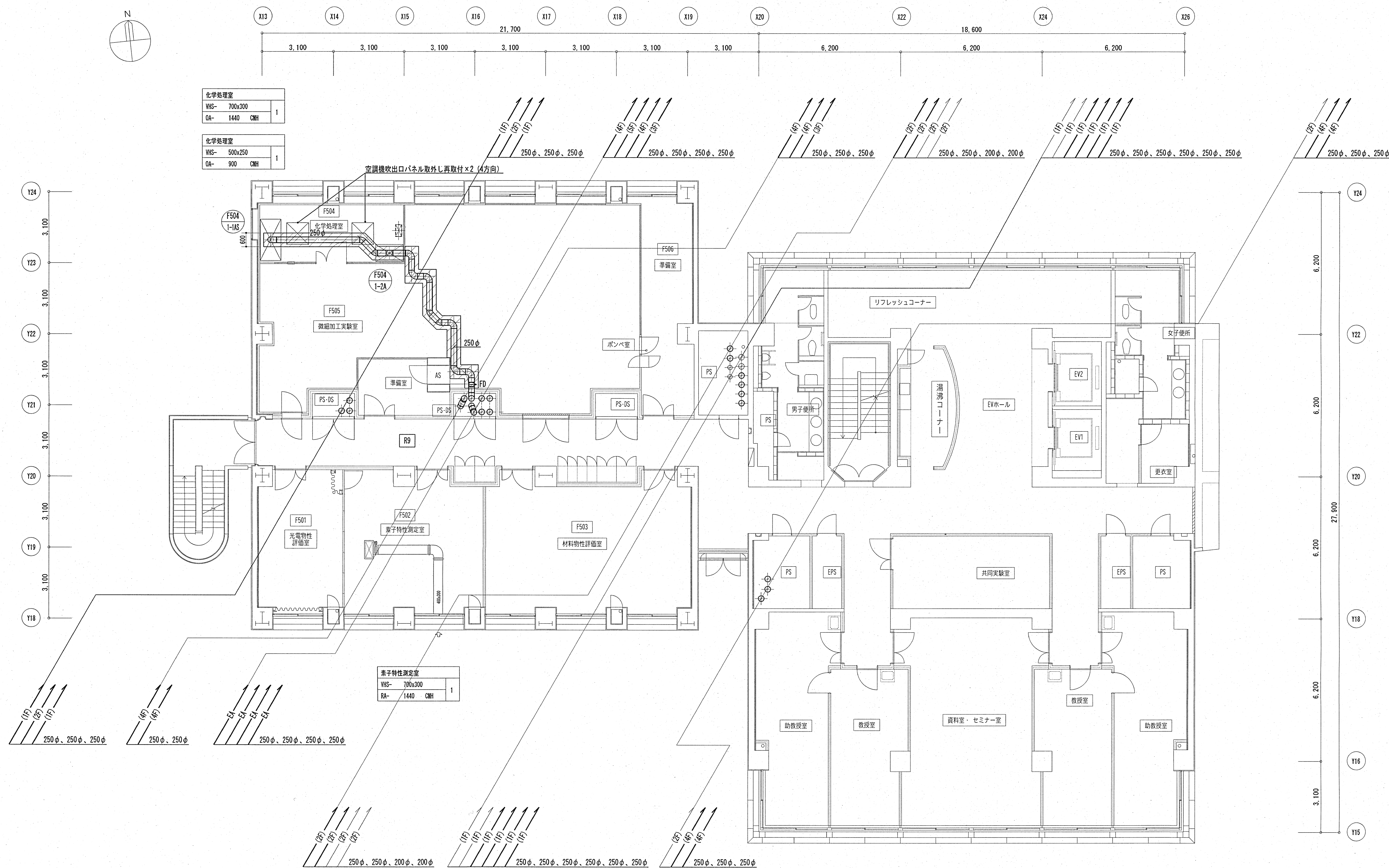
訂正	令和 年 月 日	設計事務所名 	管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	年度 令和8年度
		業務名 奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務	承諾 検図 作図 	課長 課長補佐 係長 担当者 	図面名称 物質創成科学F棟西 換気設備 3階平面図 (撤去)	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200
			設計年月 令和8年3月			図面番号 M-16





凡 例	
記 号	名 称
	撤去
	残置
注記) 1. の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。	
2. 書きの室名は二重天井 (QH=2700) 部分を示す。	
3. 天井仕上げ材は下記による。	
C6	化粧けい酸カルシウム板 (6mm)
R9	ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)
記載なし: 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)	


4 階平面図 1/100


訂正 令和 年 月 日	設計事務所名		管理技術者		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度
	株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所		建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸		課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	令和8年度
	業務名		承諾	検図	作図	設計年月		図面名称		縮尺 図面番号
	奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務					令和8年3月		物質創成科学F棟西 換気設備 4階平面図 (撤去)		A1: 1/100 A3: 1/200 M-17



5階平面図 1/100

凡 例	
記 号	名 称
	撤去
	設置

注記) 1.  の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。

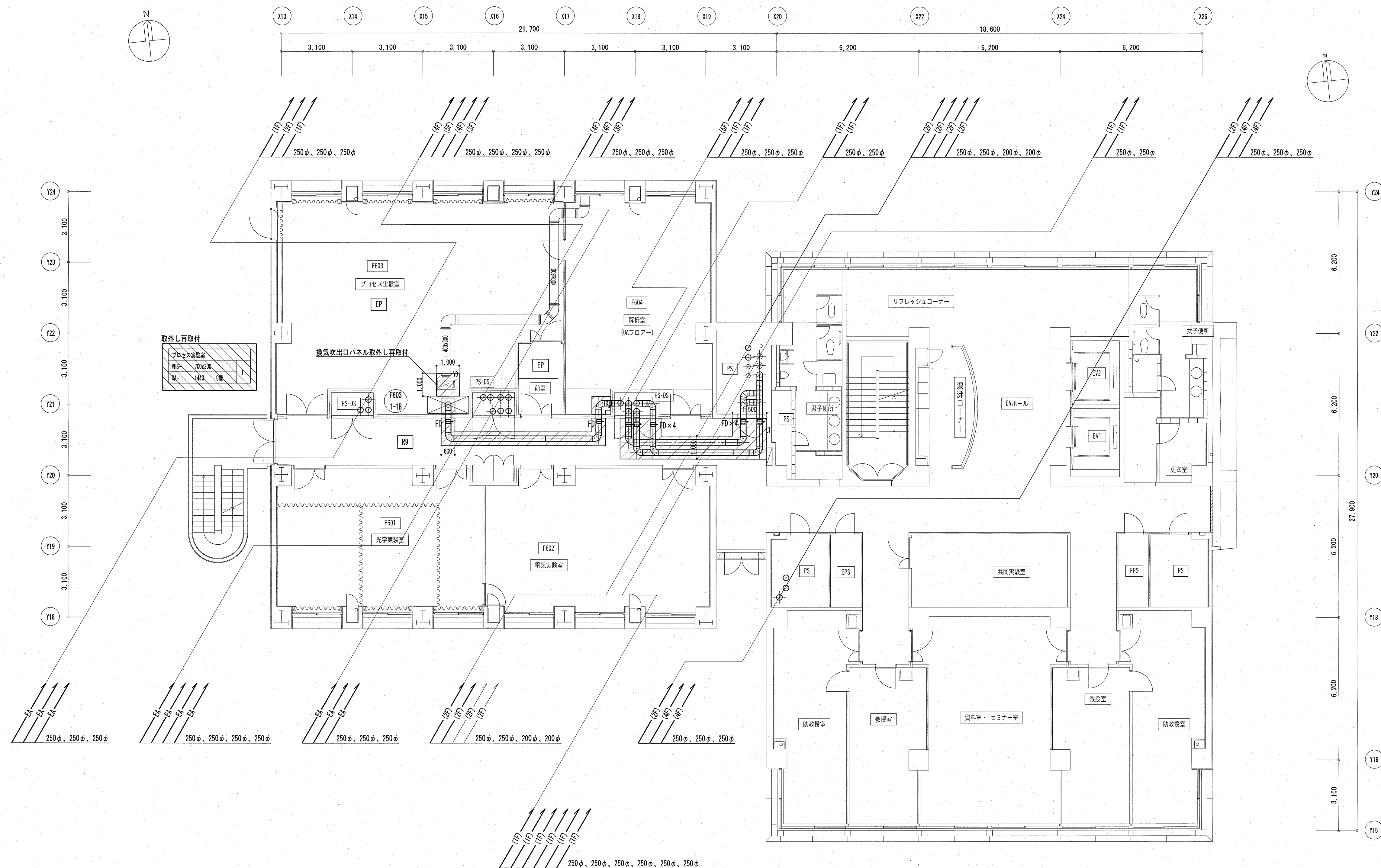
2.  書名の室名は二重天井 (DH-2700) 部分を示す。

3. 天井仕上り材は下記による。

D6	・化粧い酸カルシウム板 (6mm)
R9	・ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	・着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	・石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)


記載なし：化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)


訂正	令和	年	月	日	設計事務所名 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事	年度 令和8年度	
							課長	課長補佐	係長	担当者			
					業務名 奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務	承諾 宮内	検図 宮内	作図 萩原 萩原	設計年月 令和8年3月	宮内 萩原 萩原 宮内 小園	図面名称 物質創成科学F棟西 換気設備 5階平面図（撤去）	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面番号 M-18



6階平面図 1/100

記 号	名 称
_____	撤去
_____	残置

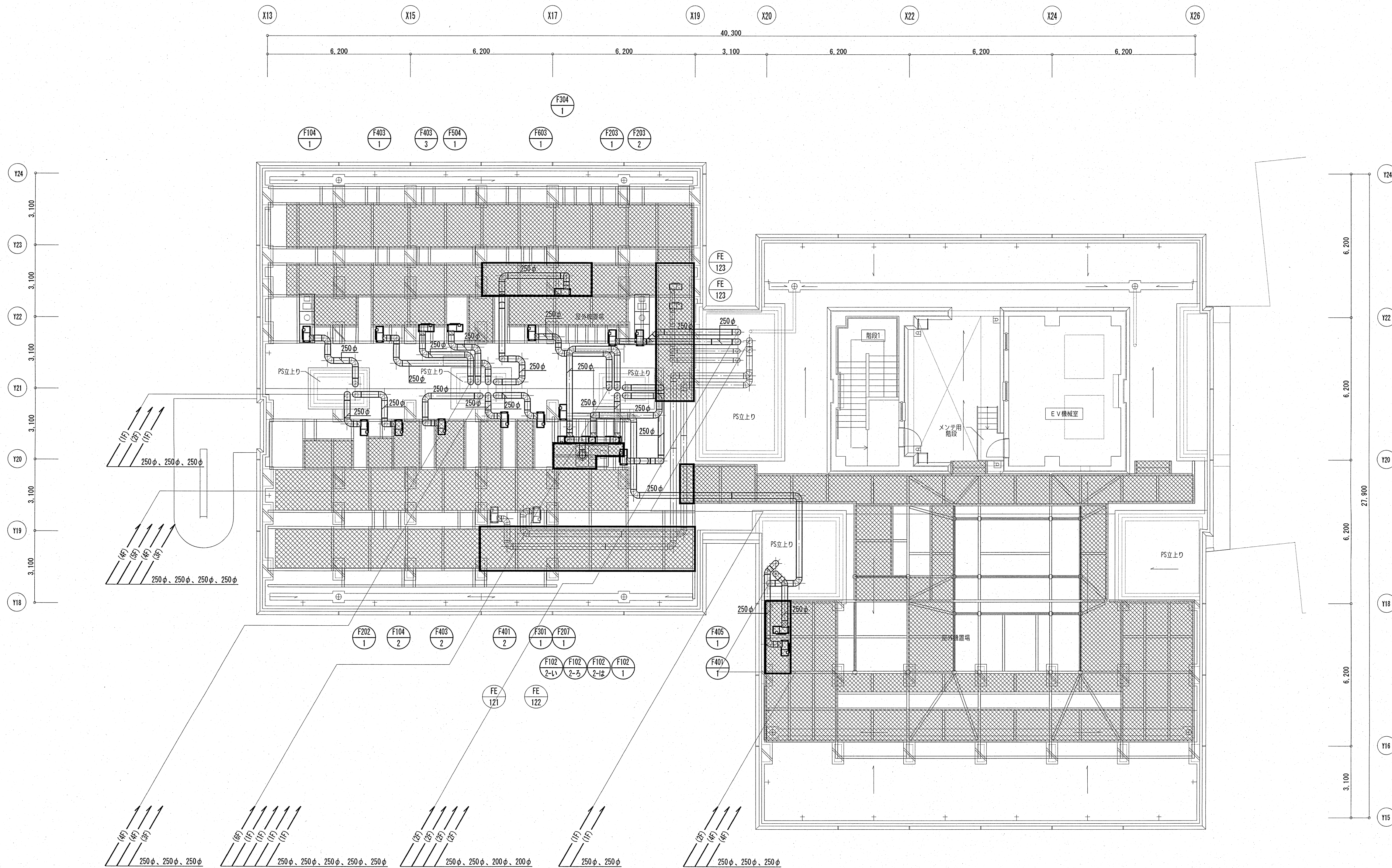
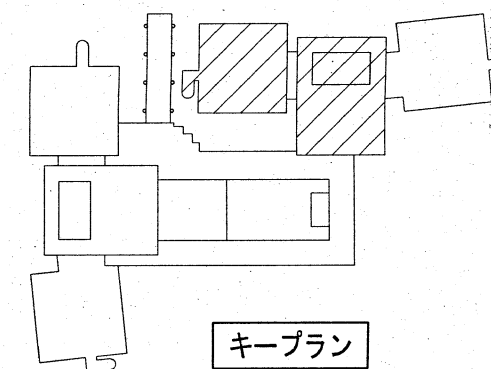
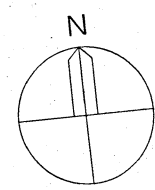
注) 1.  の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。

2.  の書きの室名は二重天井 (OH+2700) 部分を示す。

3. 天井仕上り材は下記による。

C6	: 化粧じり發カールシウム板 (6mm)
R9	: ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	: 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	: 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)

記載なし: 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)



R階平面図 1/100




凡例

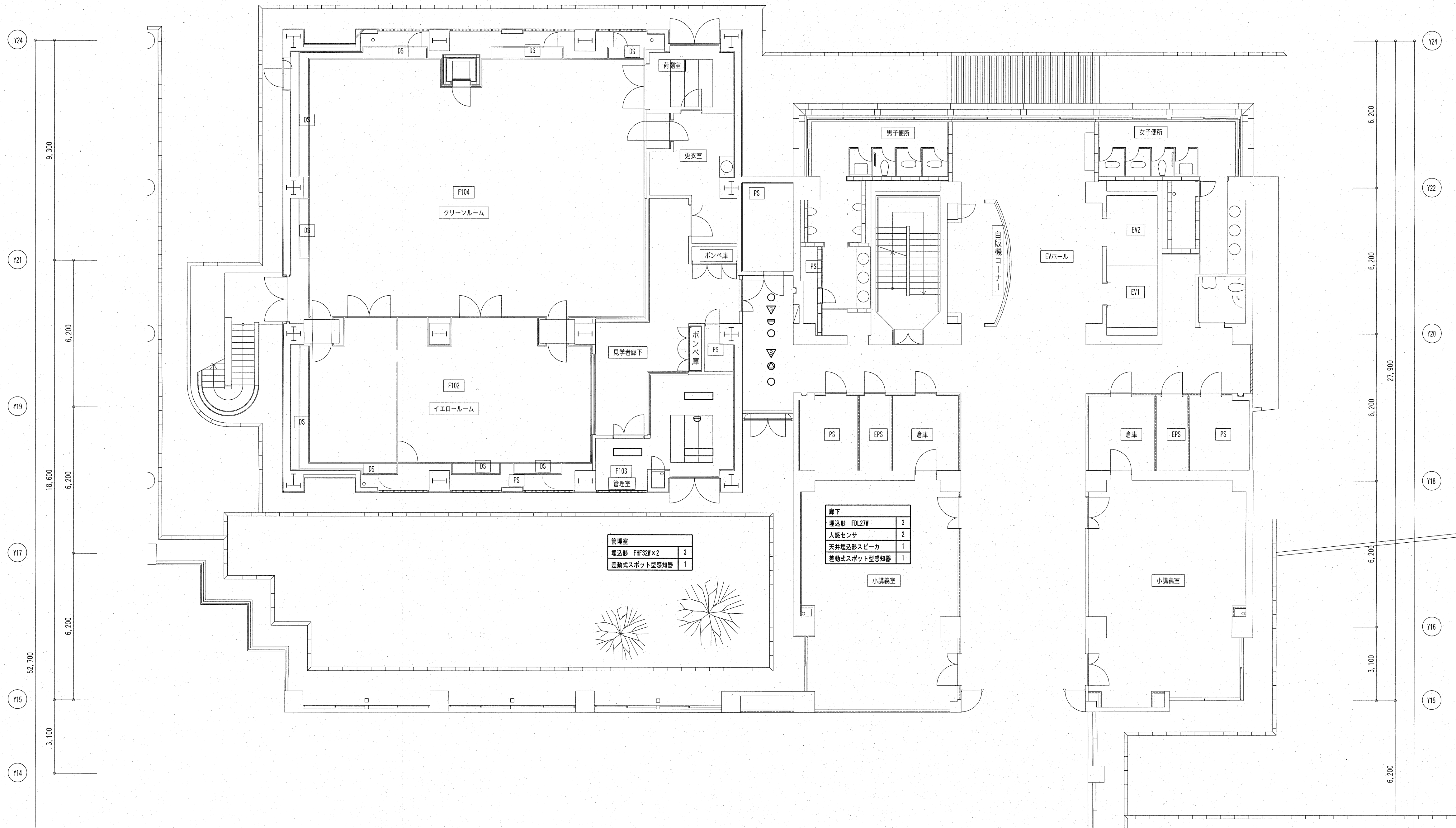
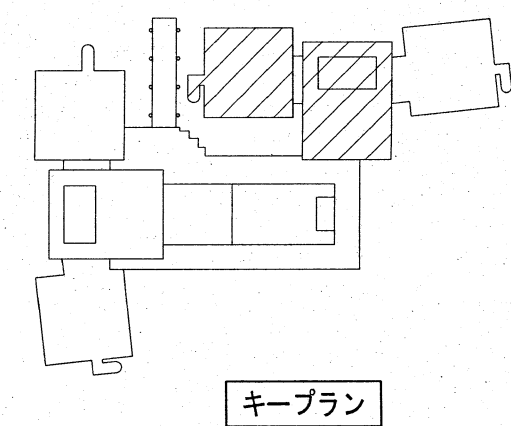
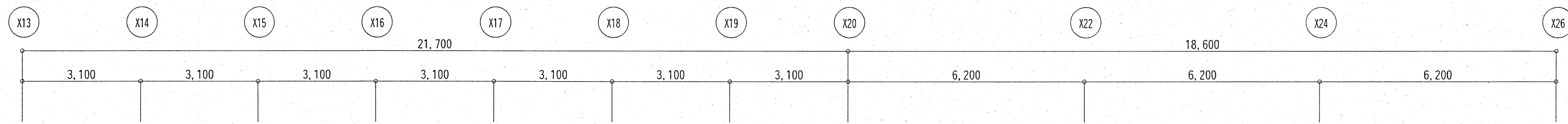
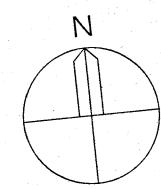
記号	名称
	撤去
	残置

- 注記) 1. の範囲は天井パネルボード解体・復旧とする。
2. 書きの室名は二重天井 (CH=2700) 部分を示す。
3. 天井仕上材は下記による。

C6	: 化粧けい酸カルシウム板 (6mm)
R9	: ロックウール化粧吸音板 (9mm)
R12	: 着色ロックウール化粧吸音板 (12mm)
EP	: 石膏ボード+EP塗装 (9.5mm 不燃)

記載なし: 化粧石膏ボード (9.5mm 不燃)
4. 部キャットウォーク天板は取外し再取付とする。

訂正	令和 年 月 日		設計事務所名	管理技術者	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名	年度	
			株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸					奈良先端物質創成科学F棟Ⅰ期局所排気設備改修工事	令和8年度	
			業務名	承諾	検図	作図	設計年月 令和8年3月	図面名称	縮尺	図面番号	
			奈良先端物質創成科学F棟Ⅰ期局所排気設備設計業務					物質創成科学F棟西 換気設備 R階平面図（撤去）	A1：1/100 A3：1/200	M-20	

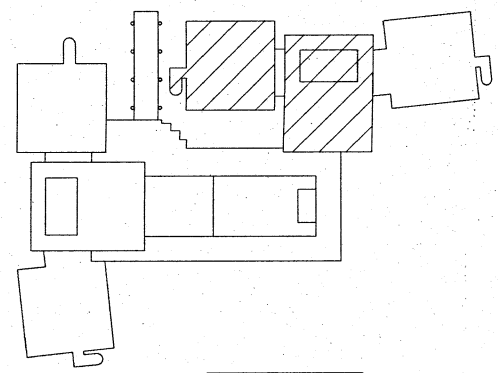
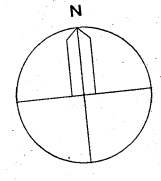
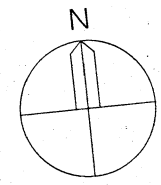


1階平面図 1/100

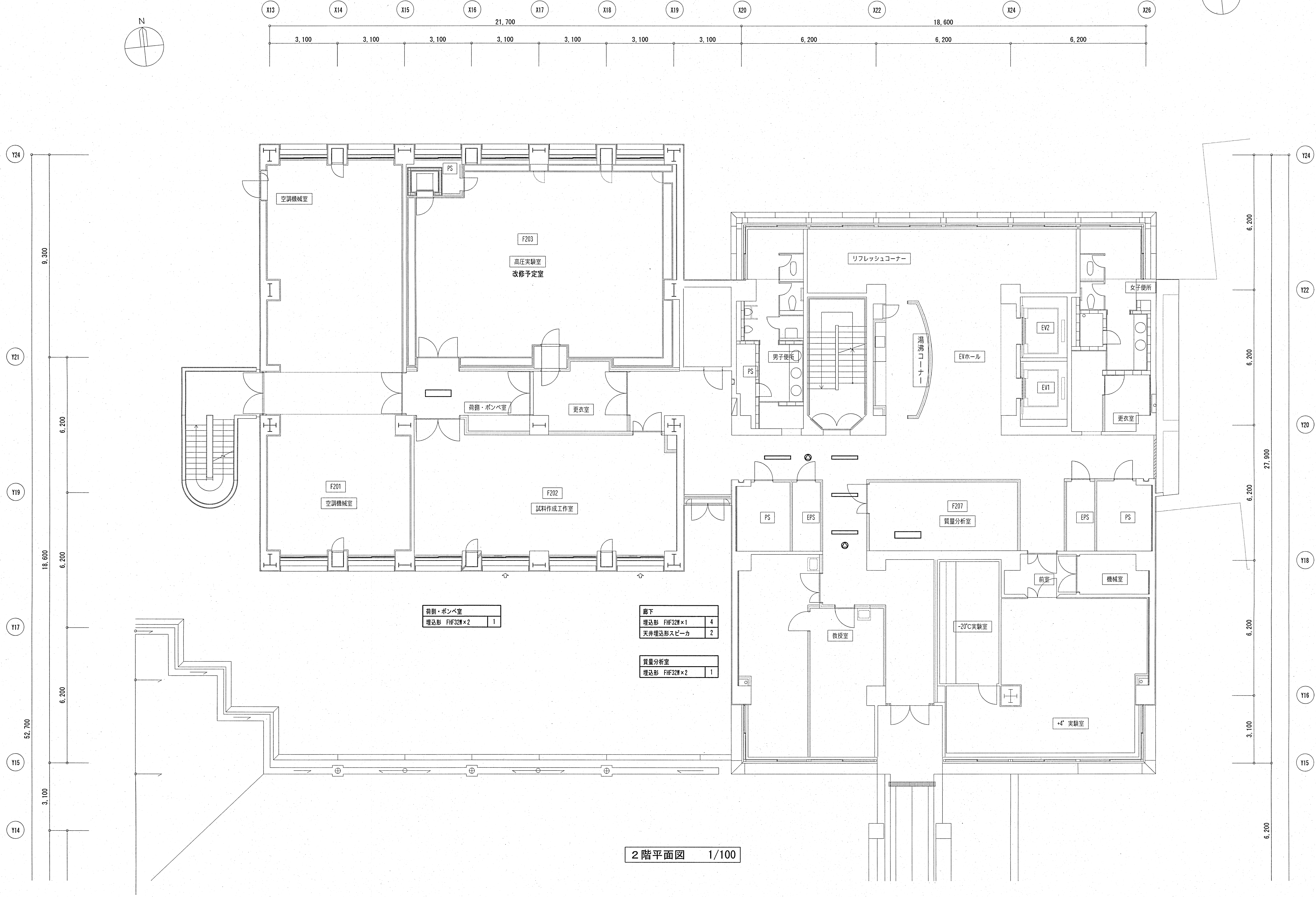
凡 例	
記 号	名 称
□	照明器具 (蛍光灯)
○	照明器具 (ダウンライト)
▽	人感センサ
⊙	天井埋込形スピーカ
⊖	差動式スポット型感知器
⊕	ガス漏れ検知器

注記) 1. 図中、太線は取外し再取付、細線は既設を示す。
2. 既設施設に支障のないように十分調査すること。

訂正	令和 年 月 日	設計事務所名 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所 業務名 奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務	管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事 図面名称 物質創成科学 F 棟西 電気設備 1 階平面図 (改修)	年度 令和 8 年度	
				課長	課長補佐	係長	担当者		縮尺	図面番号
				承諾	検図	作図	設計年月 令和8年3月		A1 : 1/100 A3 : 1/200	E-1
				宮内	宮内	森田				



キープラン



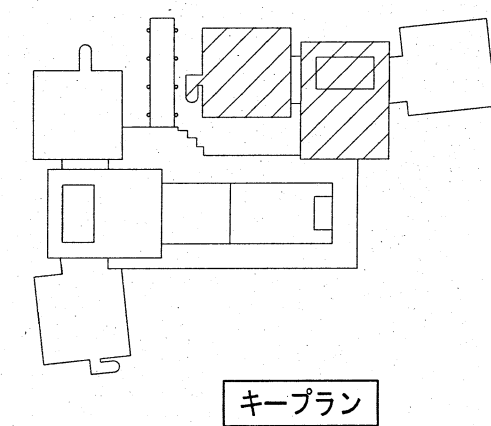
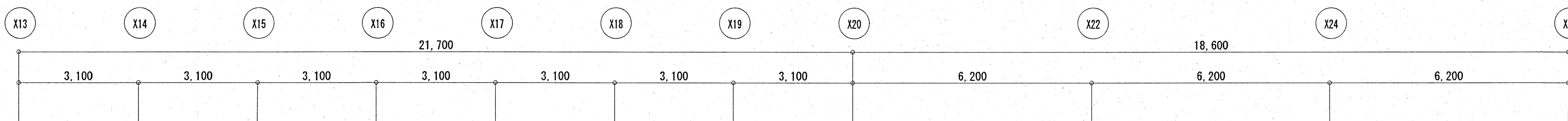
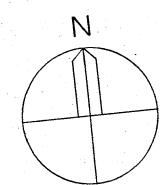
2階平面図 1/100

凡 例

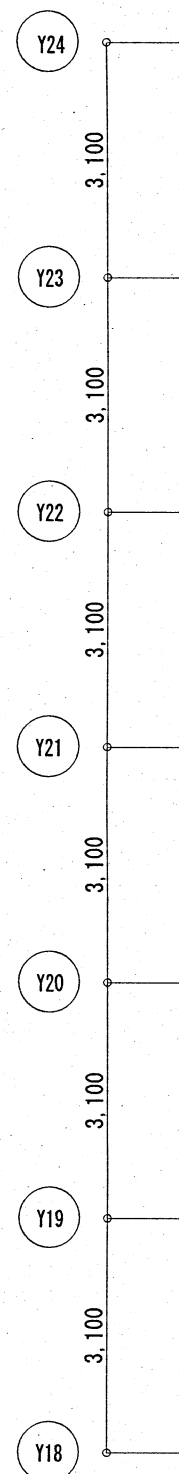
記 号	名 称
□	照明器具（蛍光灯）
○	照明器具（ダウンライト）
▽	人感センサ
△	天井埋込形スピーカ
⊖	差動式スポット型感知器
⊕	ガス漏れ検知器

注記）1. 図中、太線は取外し再取付、細線は既設を示す。
2. 既設施設に支障のないように十分調査すること。

訂正	令和 年 月 日		設計事務所名				管理技術者				国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名		年度							
			株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所				建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸				課長				奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事		令和 8 年度							
			業務名				承諾				課長補佐				係長		担当							
			奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務				設計年月 令和8年3月				富田				中村		中村		福留		外園			
																			図面名称		縮尺		図面番号	
																			物質創成科学 F 棟西 電気設備 2 階平面図（改修）		A1：1/100 A3：1/200		E-2	



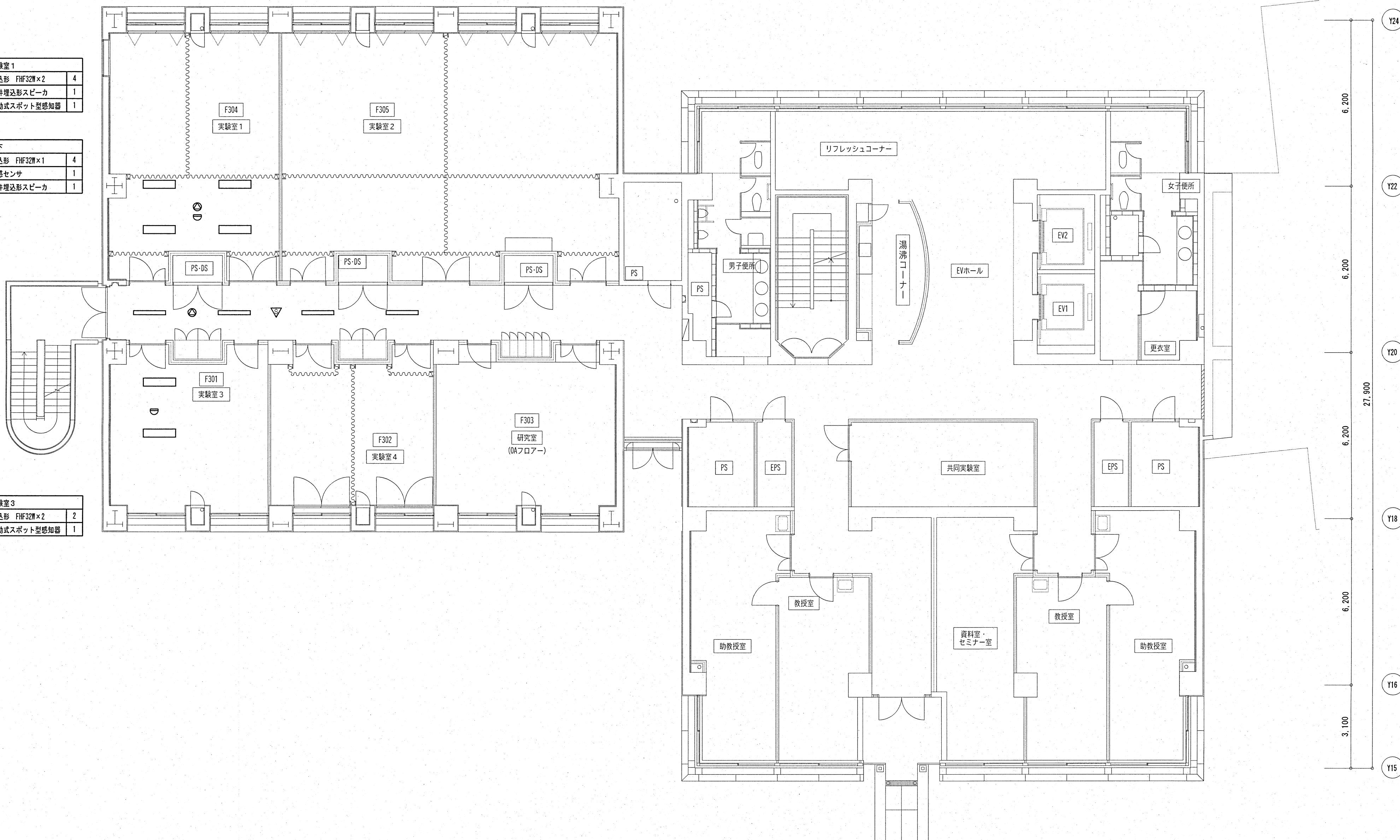
キープラン



実験室 1	
埋込形 FHF32Ⅱ×2	4
天井埋込形スピーカ	1
差動式スポット型感知器	1

廊下	
埋込形 FHF32Ⅱ×1	4
人感センサ	1
天井埋込形スピーカ	1

実験室 3	
埋込形 FHF32Ⅱ×2	2
差動式スポット型感知器	1



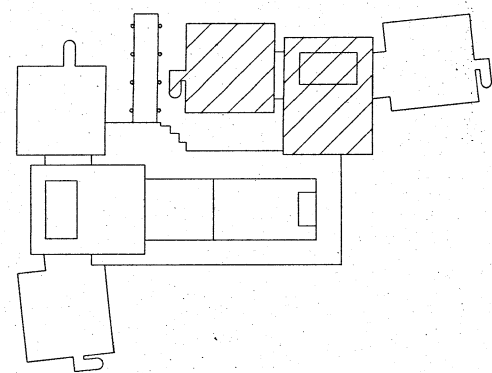
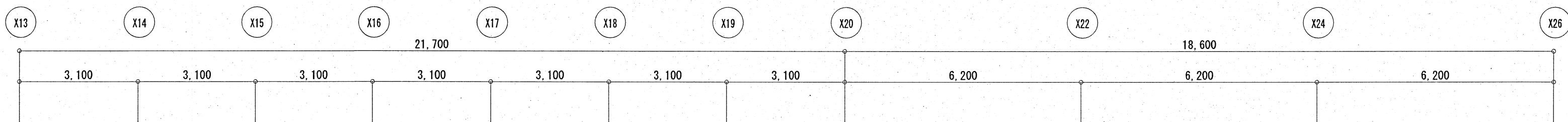
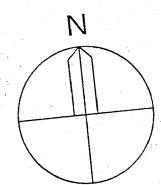
3 階平面図 1/100

凡 例

記 号	名 称
○	照明器具 (蛍光灯)
○	照明器具 (ダウンライト)
▽	人感センサ
△	天井埋込形スピーカ
□	差動式スポット型感知器
■	ガス漏れ検知器

注記) 1. 図中、太線は取外し再取付、細線は既設を示す。
2. 既設施設に支障のないように十分調査すること。

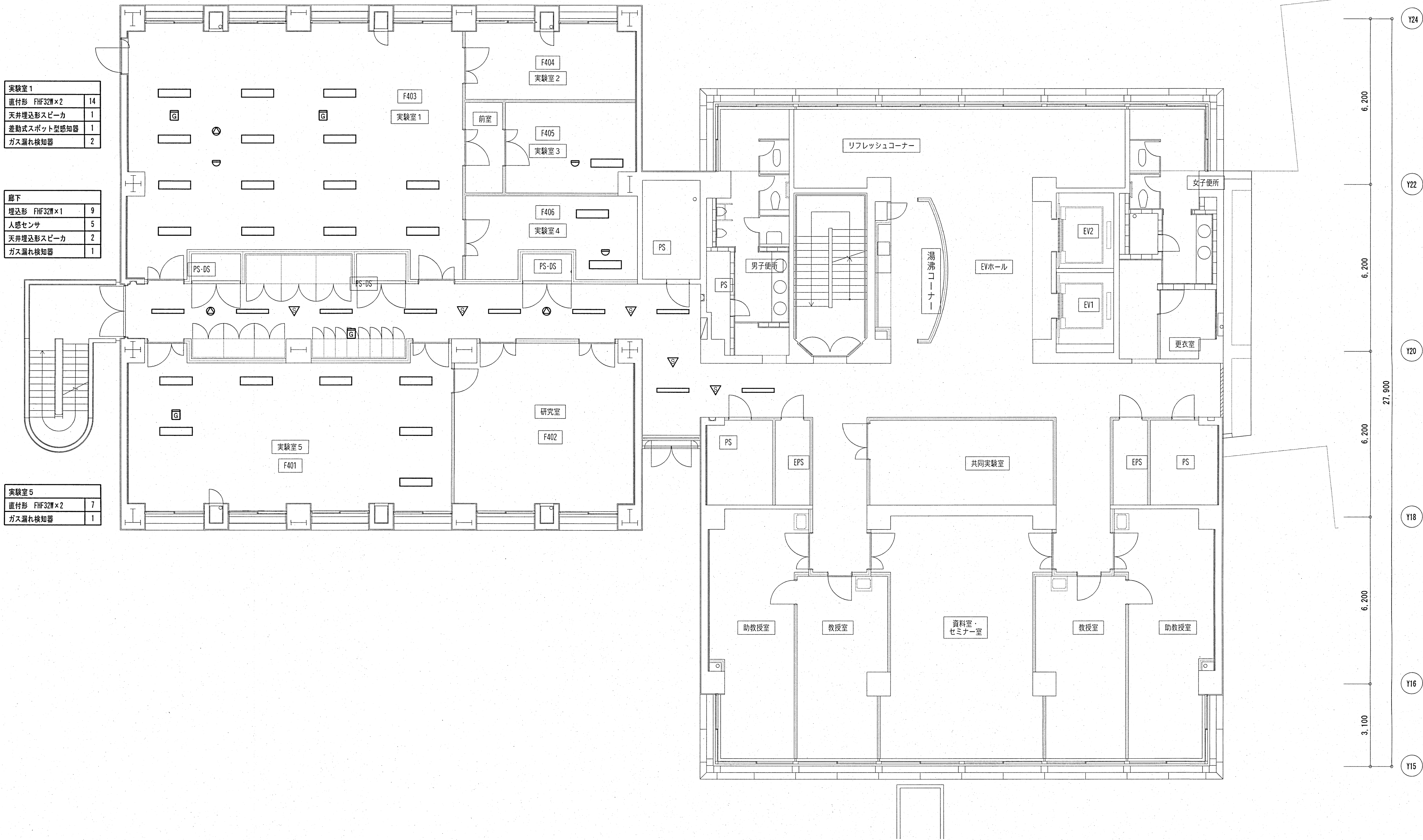
訂正	令和 年 月 日	設計事務所名 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所 業務名 奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務	管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事 図面名称 物質創成科学 F 棟西 電気設備 3 階平面図 (改修)	年度 令和 8 年度 図面番号 A1 : 1/100 A3 : 1/200 E-3
				課長	課長補佐	係長	担当者		
				承諾	検図	作図	設計年月 令和8年3月		
				宮内	宮内	森下	中村		



キープラン

実験室3		
埋込形 FHF32W×2	1	
差動式スポット型感知器	1	

実験室4		
埋込形 FHF32W×2	2	
差動式スポット型感知器	1	



実験室1		
直付形 FHF32W×2	14	
天井埋込形スピーカ	1	
差動式スポット型感知器	1	
ガス漏れ検知器	2	

廊下		
埋込形 FHF32W×1	9	
人感センサ	5	
天井埋込形スピーカ	2	
ガス漏れ検知器	1	

実験室5		
直付形 FHF32W×2	7	
ガス漏れ検知器	1	

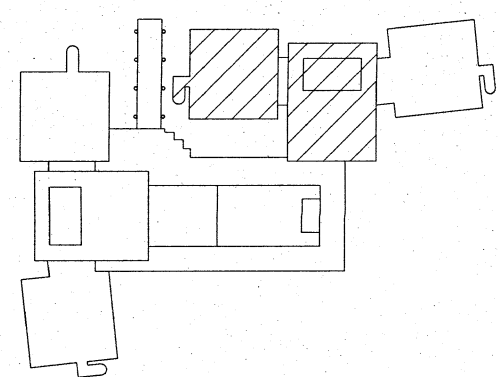
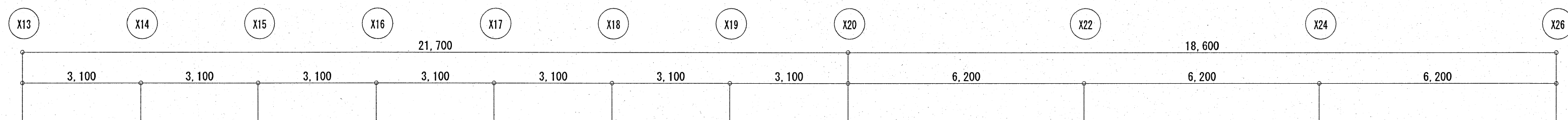
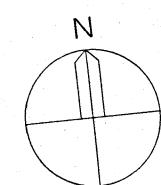
4階平面図 1/100

凡例

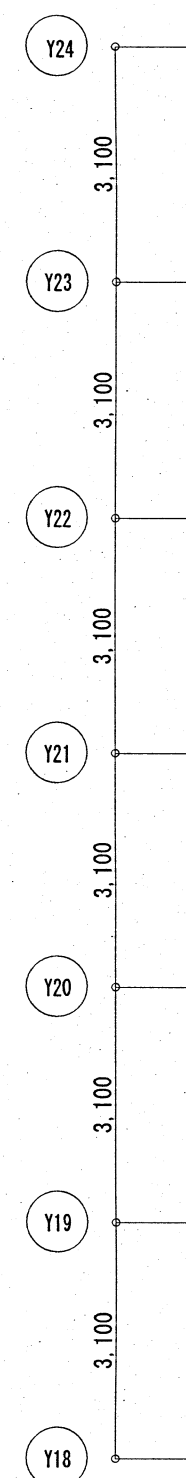
記号	名称
□	照明器具（蛍光灯）
○	照明器具（ダウンライト）
▽	人感センサ
△	天井埋込形スピーカ
⊖	差動式スポット型感知器
⊕	ガス漏れ検知器

注記）1. 図中、太線は取外し再取付、細線は既設を示す。
2. 既設施設に支障のないように十分調査すること。

訂正		令和 年 月 日		設計事務所名		管理技術者		国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名		年度	
				株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所		建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸		課長	課長補佐	係長	担当者	奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備改修工事		令和8年度	
				業務名		承諾	検図	作図	設計年月			図面名称		縮尺	図面番号
				奈良先端物質創成科学F棟I期局所排気設備設計業務		（印）	（印）	（印）	令和8年3月			物質創成科学F棟西 電気設備 4階平面図（改修）		A1：1/100 A3：1/200	E-4

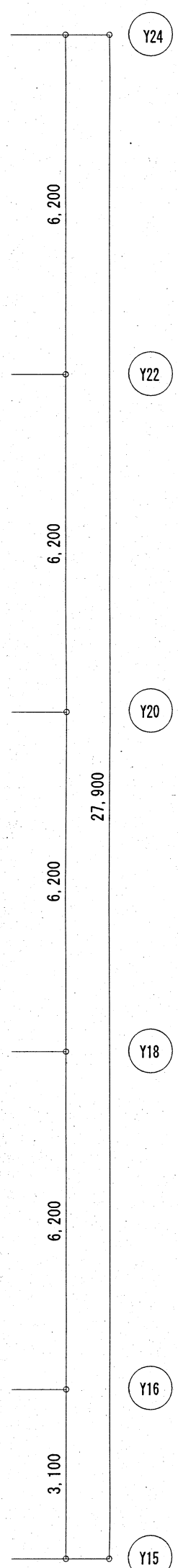
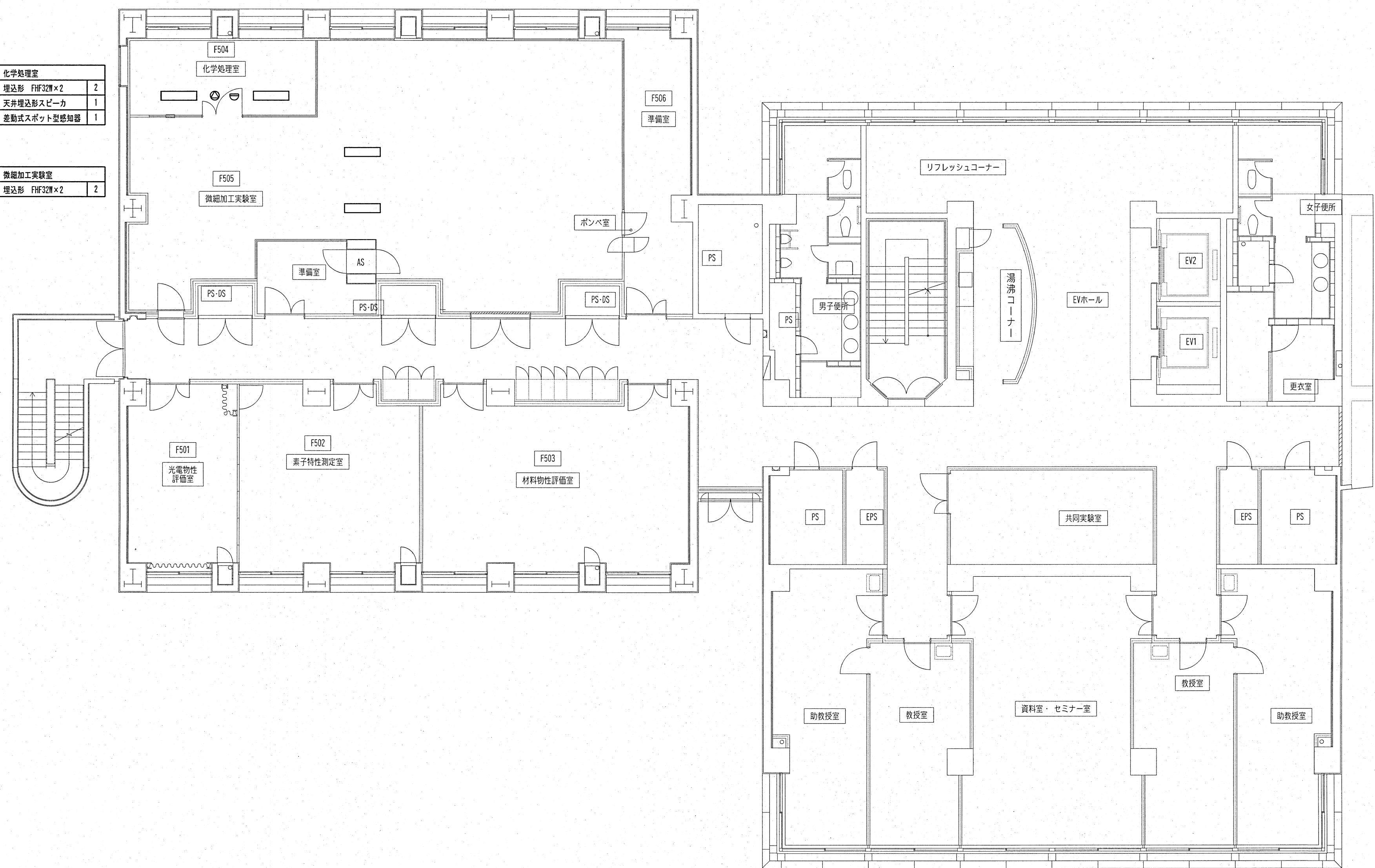


キープラン



化学処理室	
埋込形 FHF32型×2	2
天井埋込形スピーカ	1
差動式スポット型感知器	1

微細加工実験室	
埋込形 FHF32型×2	2



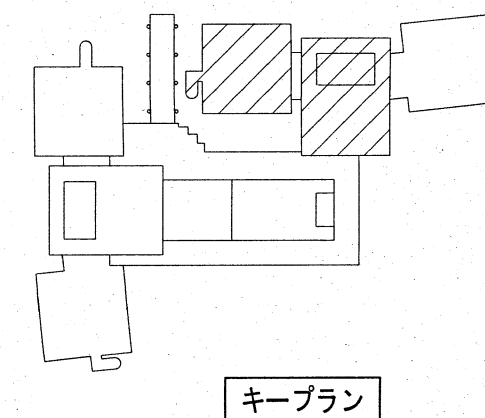
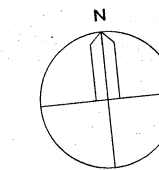
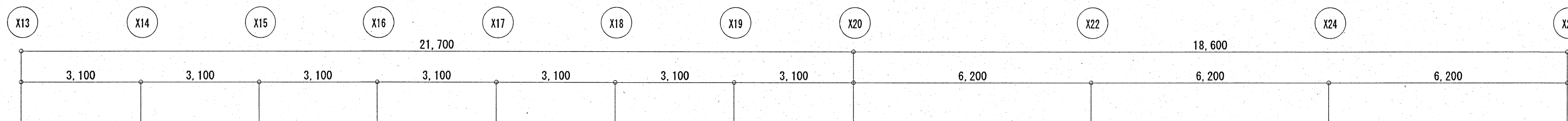
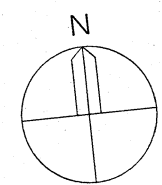
5 階平面図 1/100

凡 例

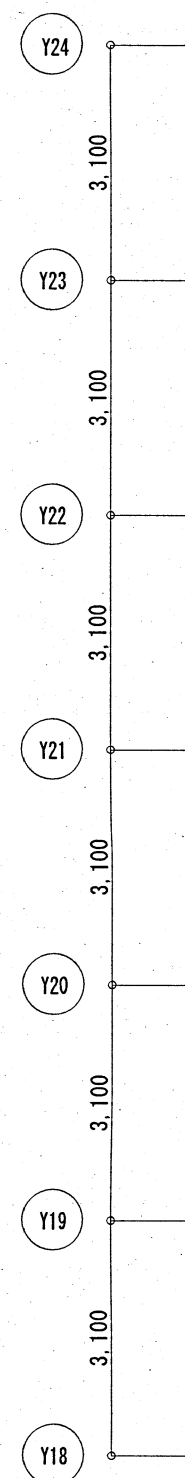
記 号	名 称
□	照明器具 (蛍光灯)
○	照明器具 (ダウンライト)
▽	人感センサ
△	天井埋込形スピーカ
⊖	差動式スポット型感知器
⊕	ガス漏れ感知器

- 注記) 1. 図中、太線は取外し再取付、細線は既設を示す。
2. 既設施設に支障のないように十分調査すること。

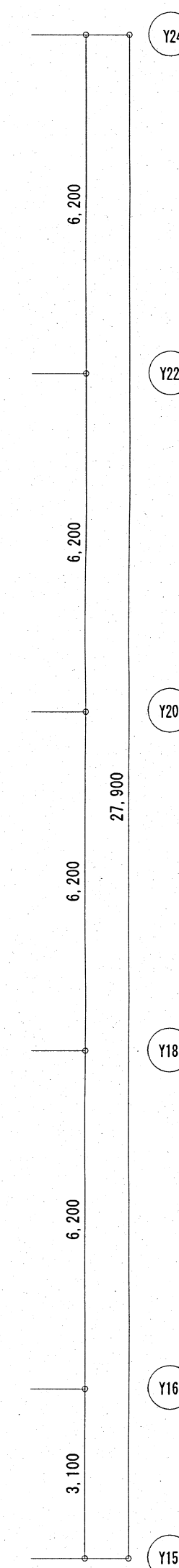
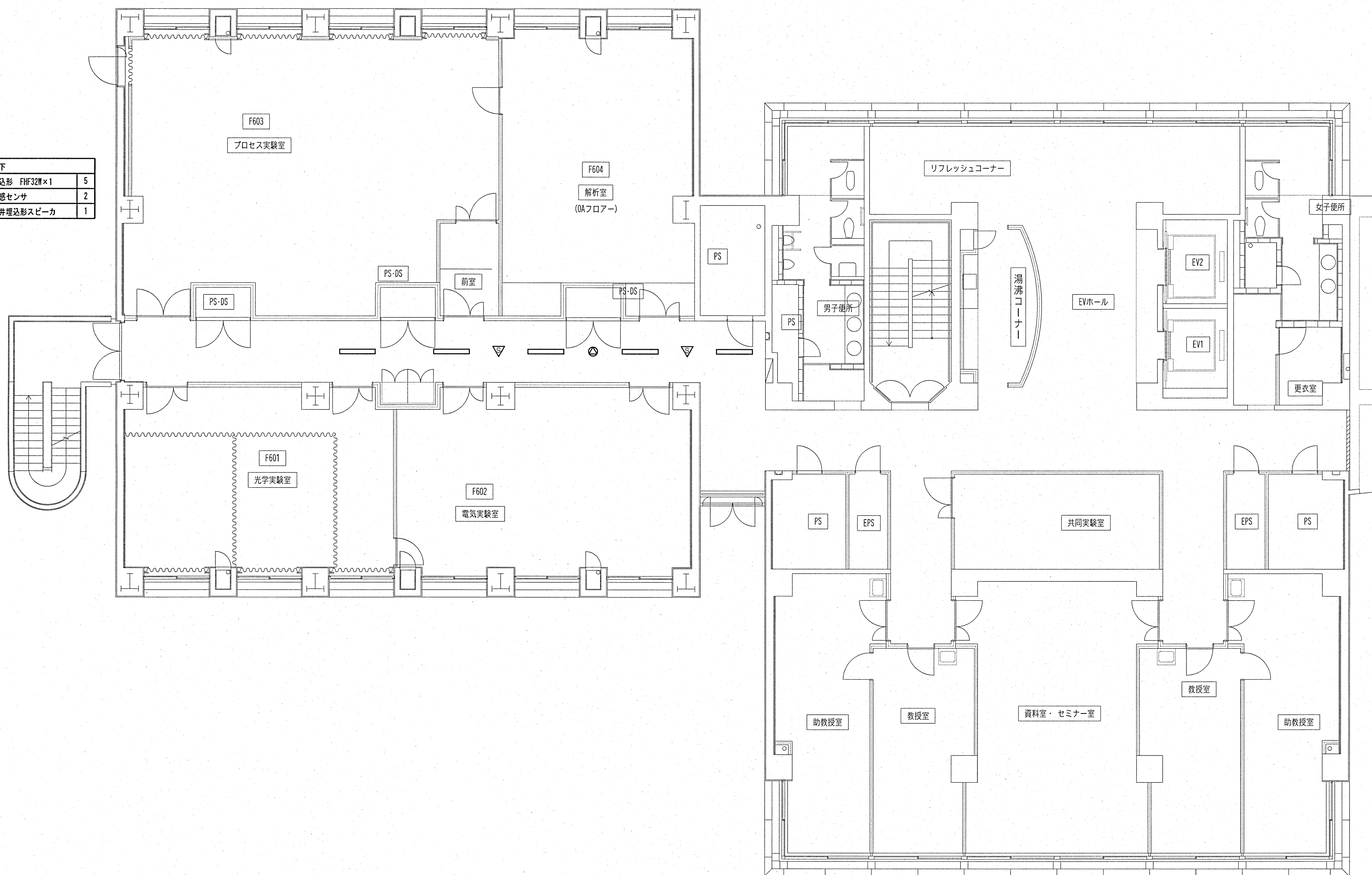
訂正	令和 年 月 日	設計事務所名 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所	管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学	工事名 奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事	年度 令和 8 年度
		業務名 奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務	承諾 校図 作図 (宮) (宮) (森) (平)	課長 課長補佐 係長 担当者 (宮) (中) (中) (福) (小)	図面名称 物質創成科学 F 棟西 電気設備 5 階平面図 (改修)	縮尺 A1 : 1/100 A3 : 1/200
			設計年月 令和8年3月			図面番号 E-5



キープラン



地下	
埋込形 FHF32Ⅱ×1	5
人感センサ	2
天井埋込形スピーカ	1



6階平面図 1/100

凡 例

記 号	名 称
□	照明器具 (蛍光灯)
○	照明器具 (ダウンライト)
▽	人感センサ
△	天井埋込形スピーカ
⌋	差動式スポット型感知器
⊞	ガス漏れ検知器

- 注記) 1. 図中、太線は取外し再取付、細線は既設を示す。
2. 既設施設に支障のないように十分調査すること。

訂正	令和 年 月 日	設計事務所名 株式会社総合設備コンサルタント 大阪事務所 業務名 奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備設計業務	管理技術者 建築設備士 登録番号 第16E1-0059RG号 宮内秀伸	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学				工事名 奈良先端大物質創成科学 F 棟 I 期局所排気設備改修工事 図面名称 物質創成科学 F 棟西 電気設備 6 階平面図 (改修)	年度 令和 8 年度	
				課長	課長補佐	係長	担当者		縮尺	図面番号
				承諾	検図	作図	設計年月 令和8年3月		A1 : 1/100 A3 : 1/200	E-6
				宮内	宮内	森下	令和8年3月			